

iFシリーズ音声ファイル管理アプリケーション 「ET-VMMAP-iF」

Version 2.1.X.X

■ 取扱説明書 ■

利用規約

本規約に同意いただいた場合のみダウンロードおよび使用していただくことができます。

1. 著作権

iFシリーズ音声ファイル管理アプリケーション「ET-VMMAP-iF」[以下本プログラムという]の著作権は株式会社日立情報通信エンジニアリングおよび株式会社ナカヨが所有します。

本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

2. 使用範囲

本プログラムの使用はiFシリーズボイスメモ機能の音声ファイル管理に限る。

3. 複製の制限

販売店・工事店がiFシリーズボイスメモ機能利用者に対して本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを電送してもよい。また、この機能を使用するユーザー内において、本プログラムの複製を作成してもよい。

4. 制限事項

本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための販売、配布、ネットワーク接続し、あるいは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

5. 本プログラムの所有権

使用にあたっての販売店・工事店またはiFシリーズボイスメモ機能を使用するユーザーはプログラムが記録あるいは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利および所有権は、当該オリジナルおよび複製が存在する形態や媒体にかかわらず、当社が保持する。

6. 機密保持

使用にあたっての販売店・工事店またはiFシリーズボイスメモ機能を使用するユーザーは、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意なしに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと(販売店・工事店がiFシリーズボイスメモ機能利用者に対する開示を除く)。さらに、第三者に本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認できる個人情報は、個人情報の漏えい、改ざんなどの危険にさらされない様に取り扱い権限者の明確化などの組織的な対応、さらに悪意をもった人物の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、あるいはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

9. 輸出

本プログラムまたは関連文献を輸出(海外提供)される場合には、外国為替および外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など、外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きを取ることを。

※本説明書内の画面と操作例は一例です。本説明書中の画面はWindows® 7の例で記載しています。
本アプリケーションのバージョンや設定、お使いのパソコンの環境によって画面は若干異なる場合があります。

1. はじめに

「iF シリーズ音声ファイル管理アプリケーション」の特長と概要	1-2
パソコンのハードウェア条件	1-4
接続方法	1-5
インストールとアンインストール	1-6
アプリケーションの起動・終了	1-7
メイン画面について	1-8
録音情報一覧の項目について	1-10
設定メニューについて	1-13

2. 基本操作

ログイン	2-2
ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード	2-4
[1]ダウンロード先フォルダを設定・削除する	2-4
[2]ボイスメモのフォルダをダウンロードする	2-9
[3]起動時のフォルダを指定する	2-10
[4]ダウンロード先や録音情報を表示するフォルダを変更する	2-11
各種メッセージのダウンロード	2-12
[1]ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する	2-12
[2]すべてのボックスを一括ダウンロードする	2-13
[3]ボックスを選んでダウンロードする	2-14
[4]録音情報をダウンロードした後に音声ファイルをダウンロードする	2-15
[5]録音情報／音声ファイルのダウンロード時に表示されるエラー画面について	2-17
録音情報を表示する	2-18
[1]録音情報一覧を表示する	2-18
[2]録音情報一覧を複数表示する	2-19
[3]条件を絞り込んで録音情報一覧を表示する	2-21
音声メッセージを再生する	2-24
音声メッセージを消去する	2-25
[1]一覧表から選んで消去する	2-25
[2]WAV ファイルを消去する	2-27
システム応答メッセージを追加する	2-28
システム応答メッセージをアップロードする	2-30

3. その他の操作

一覧表示する項目を追加・消去する	3-2
音声ファイルの常時ダウンロード	3-3
ダウンロードした音声ファイルを WAV ファイルに変換する	3-4
保存先を指定して WAV ファイルに変換する	3-5
音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダを作成する	3-7
音声メッセージを別のボックスフォルダに移動・コピーする	3-10
録音情報を編集する	3-12
ボックス名称を編集する	3-14
外部メディアに音声ファイルを保存する	3-15
録音情報を CSV 形式でエクスポートする	3-16
主装置の内線電話帳をインポートし、内線ボックス名称に反映させる	3-18
各種メッセージを自動でバックアップする	3-20
ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する	3-24

1. はじめに

「iF シリーズ音声ファイル管理アプリケーション」の特長と概要

「iFシリーズ音声ファイル管理アプリケーション」(以下、「本アプリケーション」または「*ET-VMMAF-iF*」と略します)は、主装置内のボイスメモユニット(以下、「ボイスメモ」と略します)と連携し、ボイスメモに録音されている音声ファイルをパソコンにダウンロードすることができます。また、ダウンロードした音声ファイルをパソコンで再生することもできます。

※*ET-VMMAF-iF*は下記の製品と共に使用します。*ET-VMMAF-iF*単独での使用や他のシリーズのボイスメモ関連製品では使用することはできません。主装置に標準で搭載しているボイスメモでもお使いいただけます。

・ETボイスメモユニット(iF) <型名: *ET-VMU-iF*>

■ご利用できる機能

下記の機能をご利用できます。

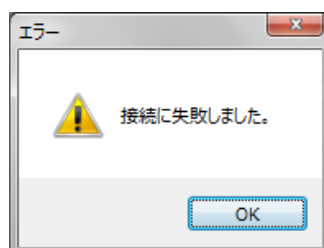
機能	概要
ログイン	・本アプリケーションをご利用になるには、主装置にログインする必要があります。IPアドレス、ユーザー名、パスワードなどの設定が必要になります。(☞2-2ページ)
各種メッセージのダウンロード	・ボイスメモに録音されている各種メッセージを、パソコンにダウンロードすることができます。(☞2-12ページ) ・録音情報(BOX番号、録音日時、録音時間、相手の電話番号などの情報)と音声ファイル(音声データ)を個別にダウンロードすることができます。録音情報のみダウンロードしておき、音声ファイルが必要なときに音声ファイルを後からダウンロードすることもできます。 ・ボックスごとに順次自動ダウンロードすることもできます。これにより、録音情報一覧表示(☞2-18ページ)の自動更新ができます。(☞3-3ページ)
録音情報の表示	・ダウンロードした録音情報をパソコン上で一覧表示することができます。同時に複数(最大4個)の録音情報を表示したり、条件で絞り込んで表示したりすることもできます。(☞2-18ページ) ・一覧表示する項目を追加したり削除したりできます。(☞3-2ページ) ・録音情報にタイトルやメモを入力することもできます。(☞3-12ページ)
音声メッセージの再生	・ダウンロードした音声メッセージをパソコン上で再生することができます。(☞2-24ページ) ※メッセージの再生は、パソコンにインストールされている汎用のプレーヤー(Windows Media® Playerなど)を使用します。
音声メッセージの消去	・ダウンロードした各種メッセージを消去することができます。(☞2-25ページ) ・パソコン内で変換したWAVファイルを消去することもできます。 ・ボイスメモに記録されている音声メッセージを消去することもできます。
WAVファイルへの変換	・ダウンロードした音声ファイルを、汎用のプレーヤー(Windows Media® Playerなど)で再生できるようにWAVファイルへ変換します。 ・変換していない音声ファイルは再生時に自動的にWAVファイルに変換して再生します。ダウンロード時やダウンロードした後にWAVファイルに変換することもできます。(☞2-12、3-4ページ) ・選択された音声ファイルをWAVファイルに変換するとき、保存先を指定フォルダにすることもできます。(☞3-5ページ)
専用のボックスフォルダの作成	・各種メッセージをダウンロードするため、パソコン内にボイスメモのボックスと同じ構成のボックスフォルダが設定されます。移動・コピー専用のボックスフォルダを独自に作成することができます。(☞3-7ページ) ※独自に作成したボックスフォルダには録音情報や音声ファイルはダウンロードされません。
音声メッセージの移動・コピー	・ダウンロードした音声メッセージを、他のボックスフォルダに移動またはコピーすることができます。(☞3-10ページ) ※システム応答メッセージにこの機能は使うことはできません。
システム応答メッセージの追加とアップロード	・ユーザーが作成した音声データを、システム応答メッセージとして読み込むことができます。(☞2-28ページ) ・システム応答メッセージはボイスメモにアップロードすることができます。アップロードしたメッセージは、ボイスメモで応答メッセージとして使用することができます。(☞2-30ページ)
自動バックアップ	・ボイスメモに保存されている各種メッセージを自動的にバックアップすることができます。バックアップの条件(日時など)の設定をすることもできます。(☞3-20ページ)
外部メディアへの保存	・ダウンロードした音声メッセージを、CD-Rなどの外部メディアに保存することができます。(☞3-15ページ) ※外部メディアに保存したデータは、いつでも復元することができます。復元すると、情報の表示やメッセージの再生などを行うことができます。
録音情報のエクスポート	・録音情報をCSV形式でエクスポートすることができます。表計算ソフトなどで利用することができます。(☞3-16ページ)
内線電話帳のインポート	・内線ボックスにはボックス名(内線名称など)を登録できます。内線電話帳をインポートすると、内線電話帳に登録されている内線名称がボックス名にコピーされます。内線電話帳は「短縮/着信履歴プログラム」(<i>ET-SPDPA-iF</i>)を使ってあらかじめ保存しておきます。(☞3-18ページ) ※「短縮/着信履歴プログラム」(<i>ET-SPDPA-iF</i>)は無償提供のパソコン用アプリケーションです。入手に関しては、販売店・工事店にお問い合わせください。

1. はじめに

■ 全般的なご注意

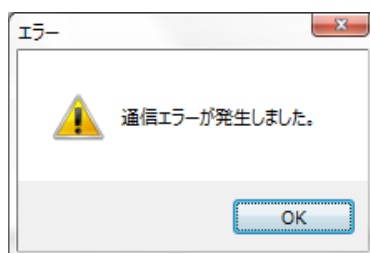
- 本アプリケーションは、Windowsのアカウントユーザーの種類を「管理者」に設定したパソコンでのみインストールおよび使用することができます。
- 本アプリケーションは、スタンドアロンのPCで使用するアプリケーションです。
録音情報／音声ファイルのダウンロード、アップロードで扱うフォルダは、音声管理アプリがインストールされているパソコン内のハードディスクに作成してください。ネットワークドライブ等の外部メディアでは、正しく動作しない場合があります。
外部メディアに録音情報／音声ファイルを保存する場合は、パソコン内のフォルダからコピーして保存してください。

- 主装置へ同時にアクセスできるパソコンは1台のみです。
2台以上のパソコンがアクセスすると、下記のエラー画面が表示されます。ボイスメモからの録音情報／音声ファイルのダウンロードやアップロード、ボイスメモ内の音声メッセージの消去以外は、複数のパソコンで本アプリケーションを使用することができます。

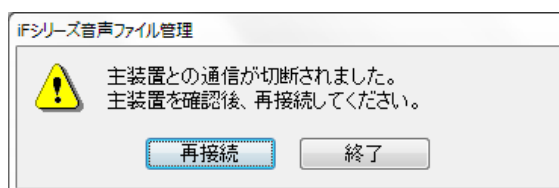


- 本アプリケーションは主装置とネットワーク通信でアップロードやダウンロード、消去を行っています。ネットワークの負荷状況によっては、パソコンと主装置間の通信が途切れ、下記のエラー画面が表示される場合があります。

ボタンをクリックしてメイン画面に戻ってください。



また、主装置と通信を行っていない場合でも、ログイン中にパソコンと主装置間の通信が途切れた場合は、下記のエラー画面が表示されます。 ボタンをクリックすると再接続することができます。



- 本アプリケーションで作成されたフォルダを別のアプリケーション(エクスプローラなど)で変更しないでください。誤って変更してしまった場合、本アプリケーションで録音情報一覧を表示できなくなる場合があります。
- 本アプリケーションを複数起動することはできません。
- 各種メッセージをダウンロードしたり移動・コピーをしたとき、パソコンのハードディスク容量などが不足すると「PCのメモリ不足です。」のエラー画面が表示されます。本アプリケーションでダウンロードした不要な音声メッセージやその他の不要なファイルを削除してください。
- 同時に起動している他のアプリケーションによっては、競合などによりエラーが発生し、正常に動作しない場合があります。エラーが発生して正常に動作しない場合は、他のアプリケーションを終了して本アプリケーションを再起動してください。

1. はじめに

パソコンのハードウェア条件

本アプリケーションをインストールするパソコンは、インストール作業をしていただく前に以下のハードウェア条件を満たしていることを確認してください。

- ・必須ハードウェア条件・・・この条件を満たさない場合は、アプリケーションの動作が非常に不安定となり、正常に動作しません。最低限の動作ができる条件です。
- ・推奨ハードウェア条件・・・すべての機能が、ストレスなく快適にご使用いただける条件です。ダウンロードする各種メッセージの量が多い場合や一覧表示する録音情報が多い場合は、こちらを目安としてください。

※推奨ハードウェア条件は、本アプリケーションと一般的に使用されるワープロソフト、表計算ソフト、メールソフト、インターネットブラウザを併用した場合を想定しています。実際のお客様の Windows 環境とは異なる場合があります。

オペレーティングシステム [※1]					CPU	HDD容量 [※2]	メインメモリ
Windows Server® 2012 R2 Datacenter	64bit	日本語版	必須条件	1. 4GHz	32GB	4GB	
Windows Server® 2012 R2 Standard	64bit	日本語版					
Windows Server® 2012 R2 Essentials	64bit	日本語版					
Windows Server® 2012 R2 Foundation	64bit	日本語版					
Windows® 10 Education	32bit	日本語版	必須条件	1GHz	1GB	1GB	
Windows® 10 Enterprise	32bit	日本語版					
Windows® 10 Pro	32bit	日本語版					
Windows® 10 Home	32bit	日本語版					
Windows® 10 Education	64bit	日本語版	必須条件	1GHz	1GB	2GB	
Windows® 10 Enterprise	64bit	日本語版					
Windows® 10 Pro	64bit	日本語版					
Windows® 10 Home	64bit	日本語版					
Windows® 8/8.1	32bit	日本語版	必須条件	1GHz	1GB	1GB	
Windows® 8/8.1 Pro	32bit	日本語版					
Windows® 8/8.1 Enterprise	32bit	日本語版					
Windows® 8/8.1	64bit	日本語版	必須条件	1GHz	1GB	2GB	
Windows® 8/8.1 Pro	64bit	日本語版					
Windows® 8/8.1 Enterprise	64bit	日本語版					
Windows® 7 Professional	32bit	日本語版	必須条件	1GHz	1GB	1GB	
Windows® 7 Enterprise	32bit	日本語版					
Windows® 7 Ultimate	32bit	日本語版					
Windows® 7 Home Premium	32bit	日本語版					
Windows® 7 Professional	64bit	日本語版	必須条件	1GHz	1GB	2GB	
Windows® 7 Enterprise	64bit	日本語版					
Windows® 7 Ultimate	64bit	日本語版					
Windows® 7 Home Premium	64bit	日本語版					
Windows Vista® Business	32bit	日本語版	必須条件	1GHz	1GB	1GB	
Windows Vista® Enterprise	32bit	日本語版					
Windows Vista® Ultimate	32bit	日本語版					
Windows Vista® Home Premium	32bit	日本語版					
Windows Vista® Home Basic	32bit	日本語版	必須条件	1GHz	1GB	512MB	
			推奨条件	2GHz	2GB	1GB	

[※1]・Windows Vista® の64bit 日本語版は非対応となります。

- ・音声メッセージの再生などを行うためにパソコンにサウンドデバイスが実装されている必要があります。
 - ・Windows Server® 2012 R2は、音声メッセージの再生などを行うために「デスクトップ エクスペリエンス」機能をインストールする必要があります。
- 「デスクトップ エクスペリエンス」機能のインストール方法につきましては、お使いのパソコンの説明書などを確認してください。

[※2] 必要なHDD容量はダウンロードする音声ファイルなどの件数や録音時間によって異なります。十分な空き容量を確保しておいてください。自動バックアップ機能を使う場合には、さらに多くの空き領域が必要になります。

- Windows Vista® はMicrosoft® Windows Vista® operating systemの略です。
- Windows® 7はMicrosoft® Windows® 7 operating systemの略です。
- Windows® 8はMicrosoft® Windows® 8 operating systemの略です。
- Windows® 8.1はMicrosoft® Windows® 8.1 operating systemの略です。
- Windows® 10はMicrosoft® Windows® 10 operating systemの略です。
- Windows Server® 2012 R2はMicrosoft® Windows Server® 2012 R2 operating systemの略です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista, Windows Server, Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1. はじめに

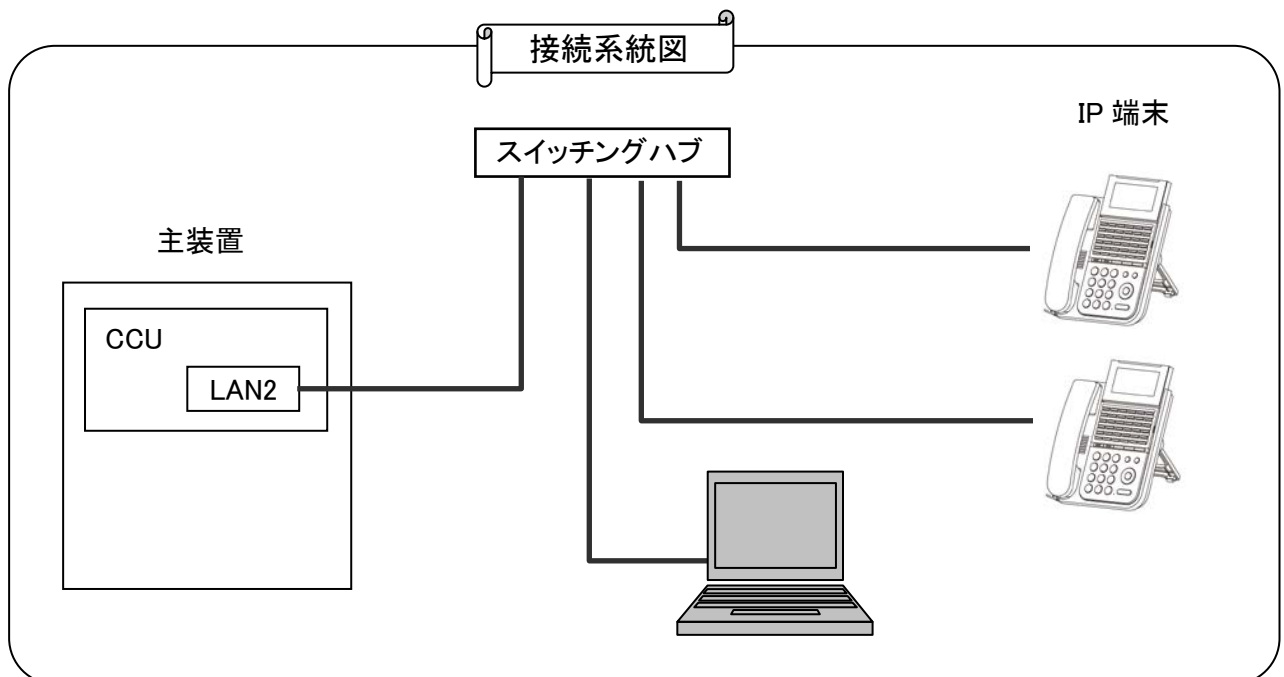
接続方法

下図のように主装置とパソコンをLAN環境に接続します。
(接続工事や設定は、販売店・工事店にご依頼ください。)

- 主装置とパソコンは同じ LAN 内に接続してください。(VPN や WAN 環境では使用できません)
- 主装置のIPアドレスの初期値は、「192.168.1.100」です。使用するパソコンの IP アドレスを主装置の IP アドレスと同じセグメントに設定してください。

例: 主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.xxx」を設定します(第3オクテットまで同一にする)。

※主装置を現在お使いの LAN 環境に接続する場合は、主装置のネットワーク設定(IP アドレスなど)を変更する必要があります。設定変更は販売店・工事店にご依頼ください。



※本図は一例です。

ご注意

- 接続するパソコンで無線LAN等を使用する場合、環境条件によってはデータ保存が遅れたり、通信エラーが発生する場合があります。

1. はじめに

インストールとアンインストール

■新規インストール

はじめて本アプリケーションをインストールする手順は下記のとおりです。

①ダウンロードまたは入手したファイル「VMMAP-iFxxxx.exe」を実行する。

(xxxxはプログラムのバージョンを示しています。)

②これ以降は、画面の指示に従ってください。

標準インストール先は、「C:\Program Files\ET-VMMAP-iF」です。

本アプリケーションをインストールすると、デスクトップに本プログラムのショートカットが作成されます。

■更新版のインストール

本アプリケーションを最新版に更新する手順は下記のとおりです。

①ダウンロードまたは入手したファイル「VMMAP-iFxxxx.exe」を実行する。

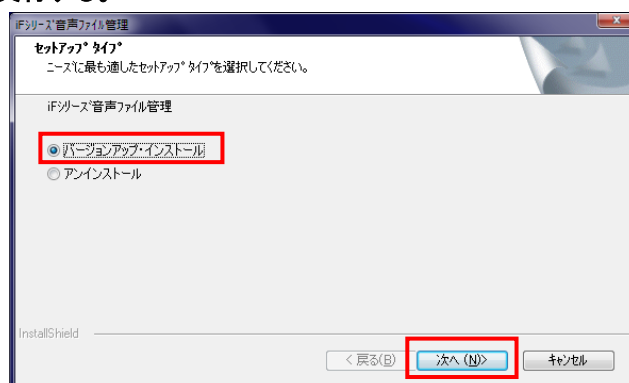
(xxxxはプログラムのバージョンを示しています。)

②しばらくすると「セットアップタイプ」画面となるので、

「バージョンアップ・インストール」を選び、**次へ(N)** をクリックする。

③これ以降は、画面の指示に従ってください。

※インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



■アンインストール

本アプリケーションをパソコンから削除する手順は下記のとおりです。

①Windows Vista® / Windows® 7の場合:

[スタート]⇒[コントロールパネル]⇒「プログラム」の[プログラムのアンインストール]を選ぶ。

Windows® 8の場合:

[クイックアクセスメニュー]⇒[コントロールパネル]⇒[プログラムと機能]を選ぶ。

※マウスポインタを画面の左下にもって行き、右クリックするとクイックアクセスメニューが表示されます。

Windows® 8.1/Windows® 10/ Windows Server® 2012 R2の場合:

[スタート]を右クリック⇒[コントロールパネル]⇒[プログラムと機能]を選ぶ。

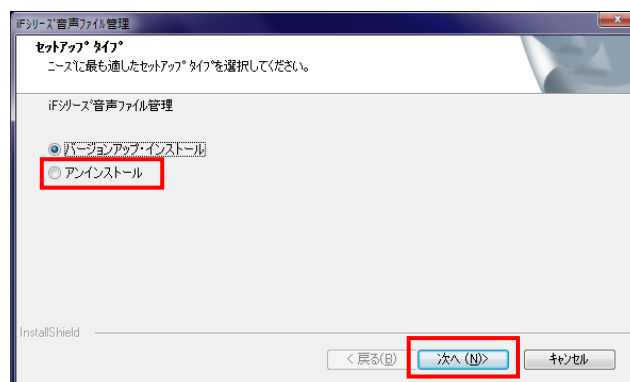
②「iFシリーズ音声ファイル管理」を選び、**変更** または **アンインストール** をクリックする。

※上記①～②の操作の代わりに、インストール時のファイル「VMMAP-iFxxxx.exe」を実行することでもできます。

③しばらくすると「セットアップタイプ」画面となるので、

「アンインストール」を選び、**次へ(N)** をクリックする。

④これ以降は、画面の指示に従ってください。



ご注意

- パソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。他のユーザーでログインしてインストールを行った場合、本プログラムが正常に動作しません。
- 本アプリケーションのインストールやアンインストールを行う際に、ユーザーアカウント制御警告が表示されることがあります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認して **許可** (Windows Vista® の場合) / **はい(Y)** (Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1 / Windows® 10 / Windows Server® 2012 R2 の場合) をクリックしてください。
- Windows® XP へのインストールもできますが、動作保証外と致します。

アプリケーションの起動・終了

■アプリケーションの起動

下記のいずれかの方法で起動してください。

●Windows Vista® / Windows 7® の場合：

〔スタート〕 ⇒ 〔すべてのプログラム〕 ⇒ 〔iF シリーズ音声ファイル管理〕 の順にクリックする。

Windows 8® の場合：

アプリ バーの 〔すべてのアプリ〕 ⇒ 〔iF シリーズ音声ファイル管理〕 の順にクリックする。

※スタート画面からマウスを右クリックすると、画面の下部にアプリ バーが表示されます。

Windows 8.1 / Windows Server 2012 R2® の場合：

〔スタート〕 ⇒ 〔下矢印ボタン⇩〕 ⇒ 〔iF シリーズ音声ファイル管理〕 の順にクリックする。

Windows 10® の場合：

〔スタート〕 ⇒ 〔すべてのアプリ〕 ⇒ 〔iF シリーズ音声ファイル管理〕 の順にクリックする。

●デスクトップにある右記のアイコン(「iF シリーズ音声ファイル管理」のショートカットアイコン)をダブルクリックする。



本アプリケーションを起動すると、「iF シリーズ音声ファイル管理」のメイン画面(基本画面)が表示されます。

※1: 右図は設定を何もしていないときの画面(はじめて起動したときの画面)です。

※2: 起動したあとは、「設定メニュー」の設定内容により、自動で開かれるフォルダは異なります。(☞2-10ページ)

起動時に前回のフォルダを開く(初期値)：

最後に指定したフォルダを開きます。ボックスおよび一覧表の種類も最後に指定した状態になります。

起動時に指定のフォルダを開く：

指定したフォルダを開きます。ボックスおよび一覧表の種類は最後に指定した状態になります。ただし、設定を「起動時に指定のフォルダを開く」に変更したり、指定フォルダ名を変更したりしたときは、次回起動時のメイン画面のボックスおよび一覧表は空欄となります。



■アプリケーションの終了

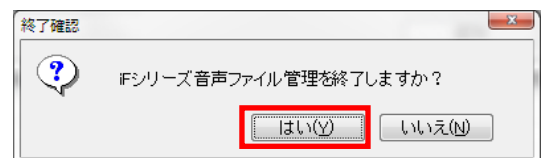
下記の手順で終了します。

①タイトルバー右の ボタンをクリックする。

※タイトルバー左のアイコンをクリックし、〔閉じる〕を選ぶこともできます。

②「終了確認」画面が表示されるので、 をクリックする。

※「設定メニュー」で「再生後に WAV ファイルを自動消去する」が設定されている場合は、終了する前に「消去中」画面が表示されます。



補足説明

●設定メニューについては、1-13 ページをご覧ください。

●自動バックアップの設定をしている場合には、別の画面が表示されます。(☞3-22、3-23 ページ)

ご注意

●起動時にユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認して (Windows Vista® の場合) / (Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows Server 2012 R2 の場合) をクリックしてください。

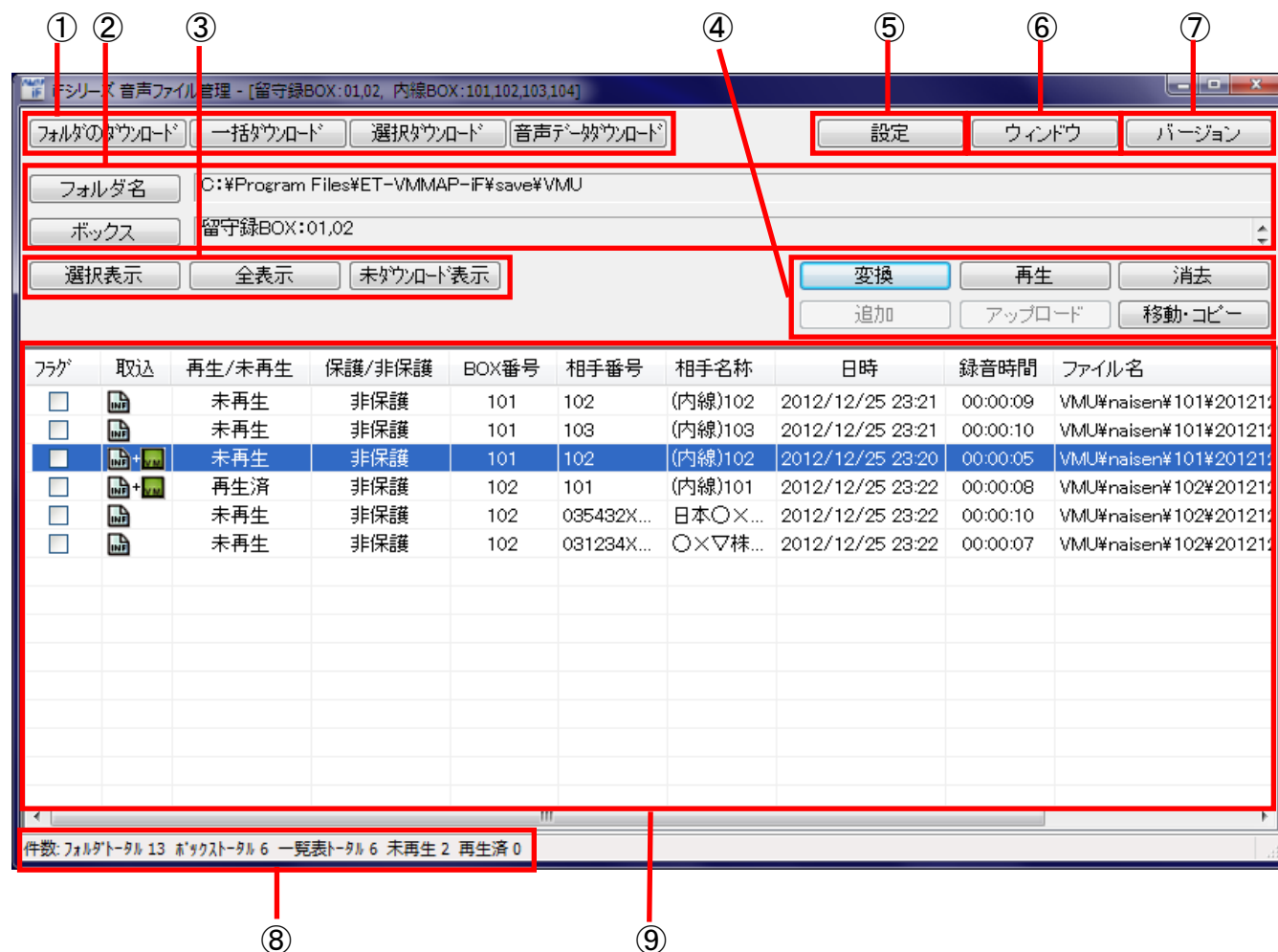
1. はじめに

メイン画面について

本アプリケーションを開いたときに表示される画面で、各種操作ボタンと録音情報一覧が表示されます。

※はじめて起動したときの画面は、フォルダ名、ボックス、録音情報一覧は表示されません。

■各部の説明



1. はじめに

表示項目の説明

番号	名前	機能や動作の概要
①	各種ダウンロードボタン	ボイスメモからダウンロードするファイルの種類を指定します。 フォルダのダウンロード : 各種メッセージをダウンロードするため、パソコン内にボイスメモと同じ構成のフォルダを作成します。本アプリケーションをはじめて使用するときは、必ず行ってください。 (☞2-4ページ) 一括ダウンロード : すべてのボックスの各種メッセージとシステム応答メッセージをダウンロードします。 (☞2-13ページ) 選択ダウンロード : ダウンロードするボックスを選んで各種メッセージをダウンロードします。システム応答メッセージを選ぶこともできます。(☞2-14ページ)
②	フォルダ名、ボックスボタン	一覧表示するフォルダやボックス、ダウンロード先のフォルダを指定します。 フォルダ名 : フォルダを選びます。右枠には現在開いているフォルダ名を表示します。 (☞2-11ページ) ボックス : 一覧表示するボックスを選びます(複数の留守録BOX、内線BOXが選べます)。右枠には現在開いているBOX番号を表示します。表示が枠の幅を超える場合は、枠の右に表示された上下のスクロールボタンをクリックすることで、表示を上下にスクロールできます。また、留守録BOXと内線BOXが混在しているときは、行を分けて表示します。枠の右に表示された上下のスクロールボタンをクリックすると、留守録BOX/内線BOXのBOX番号を確認することができます。(☞2-18ページ)
③	表示ボタン	録音情報の一覧表示方法を指定します。 選択表示 : 条件を絞り込んで録音情報を表示します。(☞2-21ページ) 全表示 : すべての録音情報を表示します。(☞2-18ページ) 未ダウンロード表示 : 音声ファイルをダウンロードしていない録音情報を一覧表示します。(☞2-18ページ)
④	音声メッセージ処理ボタン	音声メッセージの処理を行います。 変換 : 選んだ音声メッセージをWAVファイルに変換します。(☞3-4、3-5ページ) 再生 : 選んだ音声メッセージを再生します。(☞2-24ページ) 消去 : 選んだ音声メッセージを消去します。(☞2-25ページ) 移動・コピー : 選んだ音声メッセージを移動またはコピーします。(☞3-10ページ) 追加 : 指定した位置に音声ファイル(WAV,WMA)を読み込みます。(☞2-28ページ) アップロード : 選んだ音声メッセージをボイスメモにアップロードします。(☞2-30ページ)
⑤	設定 ボタン	以下の各種設定を行います。(☞1-13ページ) ・ログインおよびログアウトの操作および起動時のフォルダ指定 ・ダウンロード時のWAVファイル変換 ・再生後のWAVファイル自動消去 ・録音情報一覧の表示項目の追加と消去 ・録音情報の編集などの各種設定を行います。
⑥	ウィンドウ ボタン	一覧表を複数表示したときの表示パターンを切り替えます。開いている一覧表をリスト表示します。 (☞2-19ページ)
⑦	バージョン ボタン	アプリケーションのバージョンを表示します。
⑧	音声メッセージ件数表示	音声メッセージの件数を表示します。 ・フォルダトータル: フォルダ名 ボタンの右枠に表示しているフォルダ内の音声メッセージ合計件数を表示します。 ・ボックストータル: ボックス の右枠に表示しているBOX番号の音声メッセージ合計件数を表示します。 ・一覧表トータル: 表示している一覧表の音声メッセージの合計件数を表示します。 ・未再生 : 表示している一覧表の音声メッセージのうち、ボイスメモ側で未再生の音声メッセージ合計件数を表示します。 ・再生済 : 表示している一覧表の音声メッセージのうち、ボイスメモ側で再生済の音声メッセージ合計件数を表示します。 ・システム応答メッセージトータル: 登録できるシステム応答メッセージの最大件数です。
⑨	情報表示一覧	各メッセージの録音情報の表示欄です。(☞1-10ページ)

1. はじめに

録音情報一覧の項目について

メイン画面に表示される録音情報一覧には、ボイスメモからダウンロードした録音情報や、本アプリケーションで登録できる「タイトル」や「メモ」が表示されます。音声メッセージとシステム応答メッセージではそれぞれ表示する内容が異なります。

■音声メッセージ

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
フラグ	取込	再生/未再生	保護/非保護	BOX番号	BOX名称	相手番号	相手名称	日時	録音時間	タイトル	メモ	ファイル名
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	101		102	(内線)102	2012/12/25 23:21	00:00:09			VMU#naisen#11
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	101		103	(内線)103	2012/12/25 23:21	00:00:10			VMU#naisen#11
<input type="checkbox"/>		未再生	非保護	101		102	(内線)102	2012/12/25 23:20	00:00:05			VMU#naisen#11

表示項目の説明

番号	項目	機能や動作の概要										
①	フラグ(*1)	フラグの有無に連動しチェックマーク(✓)を表示します(なし…チェックなし、あり…チェックあり)。 □部分をクリックするとチェックマークの有無が切り替わります。 チェックマークを利用して、検索条件を絞り込んで選択表示を行ったり、並び替えを行ったりすることができます。本欄はお客様の目的に合わせて(例:重要な録音情報はチェックを入れる)、ご自由にお使いください。										
②	取込	各メッセージのダウンロード状態をアイコンで表示します。アイコン上にマウスを移動すると、アイコンの説明が表示されます。 <table><tr><th>アイコン</th><th>説明</th></tr><tr><td> + </td><td>録音情報 + 音声データ(主装置で再生済)を取込(ダウンロード)済</td></tr><tr><td> + </td><td>録音情報 + 音声データ(主装置で未再生)を取込(ダウンロード)済</td></tr><tr><td></td><td>録音情報のみを取込(ダウンロード)済</td></tr><tr><td> + </td><td>録音情報 + 音声データを取込(ダウンロード)後に主装置のデータを消去済 (本アプリケーションの操作で主装置の音声メッセージを消去した場合)</td></tr></table>	アイコン	説明	 + 	録音情報 + 音声データ(主装置で再生済)を取込(ダウンロード)済	 + 	録音情報 + 音声データ(主装置で未再生)を取込(ダウンロード)済		録音情報のみを取込(ダウンロード)済	 + 	録音情報 + 音声データを取込(ダウンロード)後に主装置のデータを消去済 (本アプリケーションの操作で主装置の音声メッセージを消去した場合)
アイコン	説明											
 + 	録音情報 + 音声データ(主装置で再生済)を取込(ダウンロード)済											
 + 	録音情報 + 音声データ(主装置で未再生)を取込(ダウンロード)済											
	録音情報のみを取込(ダウンロード)済											
 + 	録音情報 + 音声データを取込(ダウンロード)後に主装置のデータを消去済 (本アプリケーションの操作で主装置の音声メッセージを消去した場合)											
③	再生/未再生	パソコンで音声メッセージを再生したかどうかを表示します。										
④	保護/非保護(*1)	・保護 : 音声ファイルが保護されています。ファイルは消去できません。 ・非保護 : 音声ファイルが保護されていません。										
⑤	BOX番号	音声ファイルが記録されているボックス番号を表示します。 (内線BOX: 数字1～4桁、留守録BOX: R01～R15)										
⑥	BOX名称 (*2)	⑤のBOX番号に対応したボックス名称を表示します。情報がない場合は空欄となります。内線名称のCSVファイルをインポートして名称を取得することができます。										
⑦	相手番号(*1)	メッセージを録音した相手の電話番号を表示します。情報がない場合は空欄となります。										
⑧	相手名称(*1)	メッセージを録音した相手の名称(全角16文字/半角32文字以内)を表示します。非通知の着信はその理由を表示します。情報がない場合は空欄となります。										
⑨	日時	メッセージが録音された年月日および時刻(年は西暦、時刻は24時間制)を表示します。										
⑩	録音時間	音声メッセージの長さ(時:分:秒)を表示します。										
⑪	タイトル(*1)	録音情報の編集機能で入力したタイトル(全角20文字/半角40文字以内)を表示します。										
⑫	メモ(*1)	録音情報の編集機能で入力したメモ(全角40文字/半角80文字以内)を表示します。										
⑬	ファイル名	音声メッセージのファイル名を表示します。ファイル名には本アプリケーションで作成したフォルダ名以下のパスを付けて表示します。 ・録音情報ファイルと音声ファイルの両方がある場合 : 音声ファイル名 (xxx.vmdat) を表示します。 ・録音情報のみの場合 : 録音情報ファイル名 (xxx.vminf) を表示します。										

*1: 「録音情報の編集」画面で入力・編集を行うことができます。(☞3-12ページ)

*2: 「BOX名称編集」画面で入力・編集を行うことができます。(☞3-14ページ)

1. はじめに

■システム応答メッセージ

① メッセージ番号	② フラグ	③ アップロード	④ 録音時間	⑤ システム応答メッセージ名称	⑥ ファイル名
001	<input type="checkbox"/>		00:00:05	挨拶のメッセージ	VMU#outou#201211011109_THU_A001_0006.vmdat
002	<input type="checkbox"/>		00:00:07	留守メッセージ1	VMU#outou#201211011108_THU_A002_0007.vmdat
003	<input type="checkbox"/>		00:00:08	留守メッセージ2	VMU#outou#201211011108_THU_A003_0008.vmdat
004	<input type="checkbox"/>		00:00:09	お断りメッセージ	VMU#outou#201211011108_THU_A004_0009.vmdat

表示項目の説明

番号	項目	機能や動作の概要
①	メッセージ番号	メッセージ番号が連番で表示されます。この番号は変更することはできません。
②	フラグ(*1)	フラグの有無に連動しチェックマーク(✓)を表示します(なし…チェックなし、あり…チェックあり)。 □部分をクリックするとチェックマークの有無が切り替わります。 チェックマークを利用して、検索条件を絞り込んで選択表示を行うことができます。本欄はお客様の目的に合わせて(例:重要な録音情報はチェックを入れる)、ご自由にお使いください。
③	アップロード	メッセージのアップロード状態が表示されます。メッセージがボイスメモにアップロードされているときには「済み」が表示されます。
④	録音時間	メッセージの長さ(時:分:秒)を表示します。メッセージが存在しないときには「--:--:--」が表示されます。
⑤	システム応答メッセージ名称(*1)	システム応答メッセージの名称が表示されます。情報がない場合は空欄となります。
⑥	ファイル名	音声メッセージの保存先フォルダとファイル名を表示します。フォルダ名は本アプリケーションで作成したフォルダ名以下のパスを表示します。音声ファイル名(xxx.vmdat)を表示します。


*1: 「録音情報の編集」画面で入力・編集を行うことができます。(☞3-12ページ)

1. はじめに


補足説明

- 音声メッセージの一覧表示の各項目は、追加や消去ができます。(☞3-2ページ)
(システム応答メッセージの一覧表示ではできません)
- 録音情報一覧の録音情報を選ぶときは下記のやり方ができます。
 - ①選択したい録音情報の表示行を左クリックします。ただし、「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので、他の欄の位置でクリックするようにしてください。
キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックすると範囲選択ができ、キーボードの[Ctrl]キーを押しながらクリックすると複数選択ができます。
※ダブルクリックすると、「録音情報編集」画面が表示されます。 ボタンをクリックしてメイン画面に戻ってください。
 - ②右クリックして選ぶこともできます。「フラグ」欄が切り替わらずに選ぶことができますので誤操作が防止できます。
 - ③キーボードの上下キー(/)を押します。
また、[Shift]キーを押しながらキーボードの上下キー(/)を押すと、連続して複数が選べます。
- 各項目の表示欄について…
 - (1)録音情報一覧を開いたときはBOX 番号の順に表示されます。また、同一 BOX 番号内では日時降順(録音日時の新しいものが上になる)となります。
 - (2)各項目欄をクリックすると、選んでいる項目を対象にして降順/昇順の並び替えを行うことができます。▲は昇順、▼は降順を示します。(システム応答メッセージの一覧表示ではできません)
他のフォルダの一覧を表示したときや、本アプリケーションを再起動したときは、初期状態に戻ります。
※文字表示以外の項目は、昇順にした場合は下記の順序で表示されます。降順は昇順の逆となります。

項目	昇順の表示順序
フラグ	フラグなし → フラグあり
取込	 +  →  +  →  →  + 
再生/未再生	再生済 → 未再生

- (3)表示部の各項目の幅を調整することができます。項目名の境界部分にマウスを移動し、 が表示されたらマウスをドラッグして動かして幅を調整してください。境界部分をダブルクリックすると、左側の項目の幅が表示する情報の長さに合わせて最適化されます。本アプリケーションを再起動すると、表示幅は初期状態に戻ります。



保護/非保護	 BOX番号
非保護	101
非保護	101
非保護	101
非保護	102

1. はじめに

設定メニューについて

本アプリケーションを使うための各種設定を行います。

下記の手順で設定します。

- ①メイン画面の ボタンをクリックする。
- ②「設定メニュー」が表示されるので、設定したい項目をクリックする。



■各メニュー項目の説明(1/2)

項目	機能や動作の概要
ログイン...	主装置にログインするときにクリックします。クリックすると「ログイン」画面が表示されます。(☞2-2 ページ)
ログアウト	主装置からログアウトするときにクリックします。(☞2-3 ページ)
起動時のフォルダを指定する...	起動時に前回のフォルダを開くか、指定のフォルダを開くかを設定します。「起動時のフォルダ指定」画面が表示されます。(☞2-10 ページ)
ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する	音声ファイルをダウンロードするとき、同時に WAV ファイルへの変換も行うかどうかを設定します。設定があると、チェックマーク(✓)が表示されます。(☞2-12 ページ) ※「設定メニュー」を開くと設定状況が確認できます。
ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する...	音声ファイルをダウンロードしたあと、主装置に保存されている対象の音声ファイルを自動消去するかどうかをボックスごとに設定します。(☞3-24 ページ)
WAV ファイルを消去する...	本アプリケーションで作成した WAV を消去するときにクリックします。「WAV ファイル消去」画面が表示されます。(☞2-27 ページ)
再生後に WAV ファイルを自動消去する	本アプリケーション終了時の、「WAV ファイルの自動消去」を設定します。設定があると、チェックマーク(✓)が表示されます。 ※「設定メニュー」を開くと設定状況が確認できます。 ※再生した WAV ファイルのみ消去されます。ダウンロードした録音情報、音声ファイルやボイスメモ内の音声メッセージは消去されません。
常時ダウンロード	音声ファイルをボックスごとに順次自動ダウンロードするかどうかを設定します。設定があると、チェックマーク(✓)が表示されます。(☞3-3 ページ) ※「設定メニュー」を開くと設定状況が確認できます。
録音情報一覧の表示項目の追加と消去...	録音情報一覧に表示する項目の編集(追加や消去)を行うときにクリックします。「録音情報表示設定」画面が表示されます。(☞3-2 ページ)
録音情報を編集する...	選択している録音情報を編集するときにクリックします。「録音情報編集」画面が表示されます。(☞3-12 ページ)
ボックス名称を編集する...	留守録 BOX や内線 BOX の名称(録音情報一覧の「BOX 名称」欄に表示する名称)を編集するときにクリックします。「BOX 名称編集」画面が表示されます。(☞3-14 ページ)
ボックスフォルダを作成する...	音声メッセージを移動・コピーするための専用のボックスフォルダを作成するときにクリックします。「ボックスフォルダ作成」画面が表示されます。(☞3-7 ページ)
ボックスフォルダ名称を変更する...	上記のボックスフォルダの名称を変更するときにクリックします。「ボックスフォルダ名称変更」画面が表示されます。(☞3-8 ページ)

1. はじめに

■各メニュー項目の説明(2/2)

項目	機能や動作の概要
一覧表をエクスポートする...	録音情報の一覧表を CSV 形式でエクスポートするときにクリックします。 「エクスポート設定」画面が表示されます。(☞3-16 ページ)
内線ボックス名称をインポートする...	「短縮/着信履歴プログラム(ET-SPDPA-iF)」を使って保存した内線電話帳データを内線ボックス名称登録用にインポートするときにクリックします。 「インポート設定」画面が表示されます。(☞3-18 ページ)
自動バックアップの設定をする...	自動バックアップに関する設定をするときにクリックします。 「自動バックアップの設定」画面が表示されます。(☞3-20 ページ)

2. 基本操作

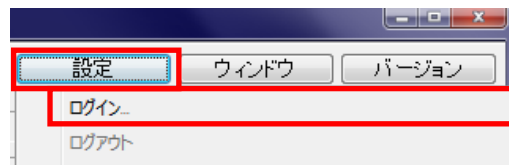
2. 基本操作

ログイン

ボイスメモに各種メッセージをダウンロード、アップロードするときや、ボイスメモ内の音声メッセージを消去するときは、主装置にログインする必要があります。

■ログインする ダウンロード、アップロード時は必須

1 本アプリケーションを起動し、設定メニューの「ログイン...」をクリックする



2 「ログイン」画面となるので、「主装置の IP アドレス」、「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、 ボタンをクリックする

・主装置の IP アドレス:

データ設定用電話機のメニューから、「**0**その他」→「**4**システム管理」→「**1**システム情報」→「**00**主装置情報」を選ぶと確認できます。

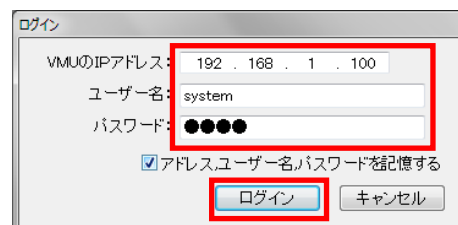
「IP: 192.168.001.100」(例)と表示されます。

この場合は、「192.168.1.100」と入力します(「192.168.001.100」と入力することもできます)。

・ユーザー名: 「system」と入力します。

・パスワード: データ設定用電話機のメニューにて、「**0**その他」→「**5**ユーザー用パスワード登録」で登録したパスワードです(初期値: 0000)。

パスワードがわからない場合は、販売店・工事店にお問い合わせください。

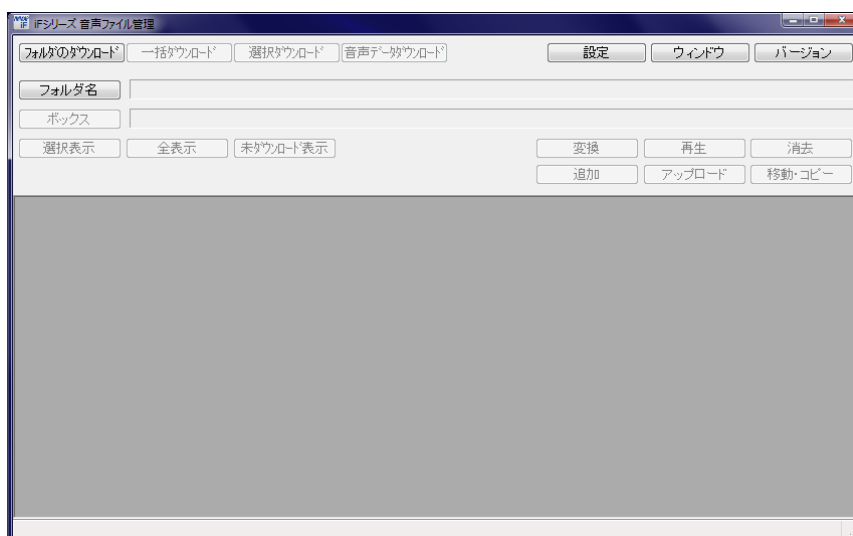


※はじめてログインする場合は空欄となっていますので、すべての欄に入力してください。

※「アドレス、ユーザー名、パスワードを記憶する」にチェックを入れておくと、次回にログインするときに各項目の入力が不要になります。記憶させたくない場合は、チェックを外してください。

※主装置でパスワードが「なし」に設定されている場合、パスワード欄には「0000」と入力してください。

3 ログインに成功すると以下の画面が表示されます



2. 基本操作

■ログアウトする

1 設定メニューの「ログアウト」をクリックする

補足説明

- ログインの状態です約 20 分間主装置との通信(ボイスメモからのダウンロードなど)がない場合や、本アプリケーションを終了した場合は自動的にログアウトします。
- フォルダのダウンロードが実行されている場合は、 や ボタンの表示でログイン中かどうかわかります。
 - ・ログイン中: 通常の表示(操作できます)
 - ・ログアウト中: グレーアウト表示(操作できません)
- 未入力や間違いがある場合は、エラー画面が表示されます。 をクリックし、やり直してください。

エラー画面の表示	原因と対応方法
IP アドレスを入力してください。 ユーザー名を入力してください。 パスワードを入力してください。	IP アドレスが入力されていない → IP アドレスを入力してください。 ユーザー名が入力されていない → ユーザー名を入力してください。 パスワードが入力されていない → パスワードを入力してください。
入力値エラーです。	ユーザー名が間違っています → 「system」と入力してください。
ログインに失敗しました。	パスワードが間違っています → パスワードを確認してやり直してください。
接続に失敗しました。	① IP アドレスが間違っています → IP アドレスを確認し、正しい IP アドレスを入力してください。 ② 主装置とパソコン間の通信エラーが発生 → LAN ケーブルなどの接続に問題がないか確認してください。 ③ すでにログイン中のパソコンがある → しばらく待ってからやり直してください。
この主装置には対応しておりません。対応しているアプリケーションをご使用ください。	主装置が iF シリーズでない → 本アプリケーションは iF シリーズ専用です。他のシリーズの主装置をご使用の場合には、対応しているアプリケーションが必要になります。

2. 基本操作

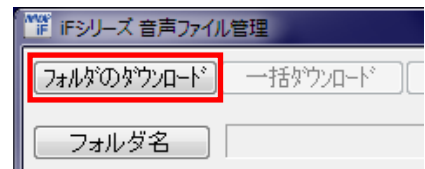
ダウンロード先のフォルダの設定とフォルダのダウンロード

[1] ダウンロード先フォルダを設定・削除する

■ ダウンロード先フォルダを作成する 必須

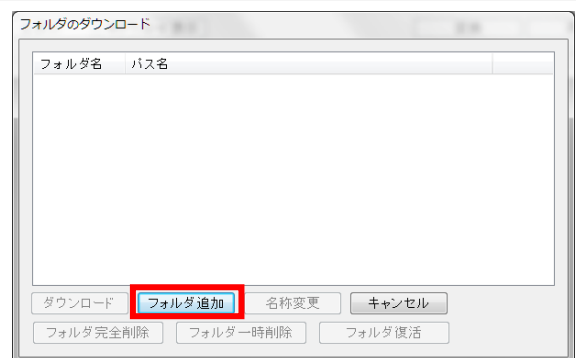
ボイスメモから各種メッセージをダウンロードするためのダウンロード先のフォルダを作成します。はじめて本アプリケーションを使うときは、必ず行ってください。フォルダを作成したあと、フォルダのダウンロードをする場合(☞2-9ページ)は、あらかじめ主装置にログインしておいてください。2-9

1 主装置にログインし、メイン画面の フォルダのダウンロード ボタンをクリックする



2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、 フォルダ追加 ボタンをクリックする

- ※すでに作成されたフォルダがあると、フォルダ名およびパス名が表示されます。
- ※フォルダのダウンロード(☞2-9 ページ)を実施したフォルダは、パス名の先頭に「*」が表示されます。
- ※中止する場合は キャンセル ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

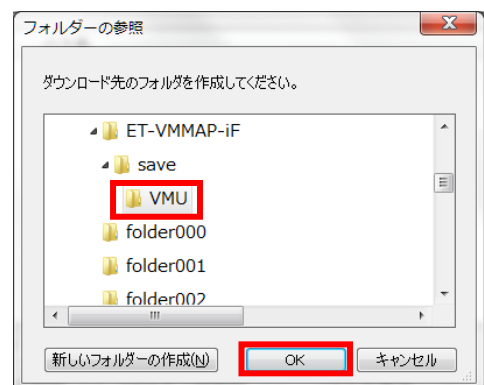


3 「フォルダの参照」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを指定して OK ボタンをクリックする

※初回はインストール時に作成された「VMU」フォルダが指定されます。2 回目以降は、前回指定したフォルダが指定されます(名称変更/削除時を除く)。

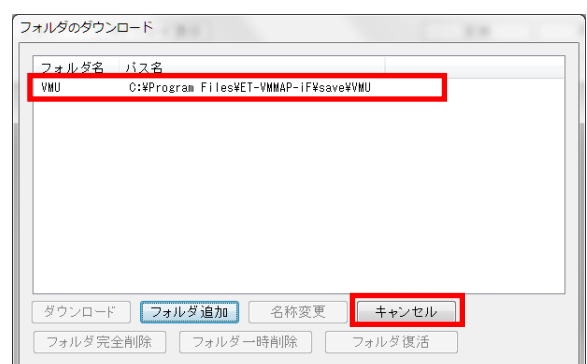
※別のダウンロードフォルダを作成するときは、下記の操作を行います。

- ①フォルダを作成する場所を選ぶ。
(ここで作成するフォルダも本アプリケーション専用のフォルダとしてください。また、本アプリケーションがインストールされているパソコンのハードディスクに作成してください。)
 - ② 新しいフォルダの作成(N) ボタンをクリックする(選んだフォルダに新しいフォルダが作成されます)。
 - ③「新しいフォルダ」が作成されるので、右クリックし「名前の変更」を選んで名前を変更する。
 - ④フォルダを指定し、OK ボタンをクリックする。
- ※中止する場合は キャンセル ボタンをクリックしてください。「フォルダのダウンロード」画面に戻ります。



4 「フォルダのダウンロード」画面に指定したフォルダが追加される

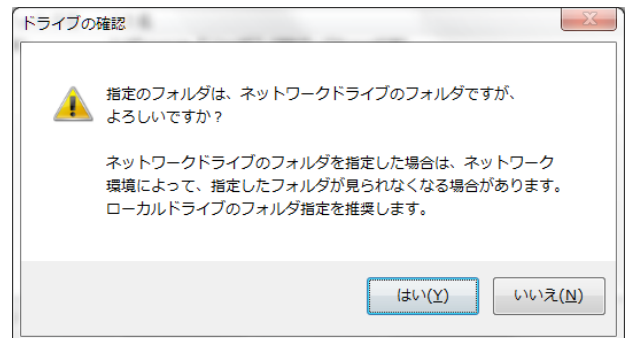
- ※終了する場合は キャンセル ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。
- ※続けてフォルダのダウンロードを行う場合は、ダウンロード先フォルダを選び、ダウンロード ボタンをクリックします。(☞2-9 ページ)



2. 基本操作

ご注意

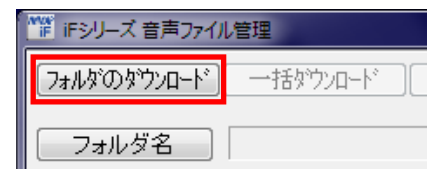
- 手順3「フォルダの参照」画面で、ネットワークドライブのフォルダを指定した場合、 ボタンをクリックした時に、右記のドライブの確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたフォルダが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのフォルダ指定を推奨します。
※右記の画面にて、 ボタンをクリックすると、次項へ進み、 ボタンをクリックすると、前の画面に戻ります。



■ダウンロード先フォルダのフォルダ名を変更する

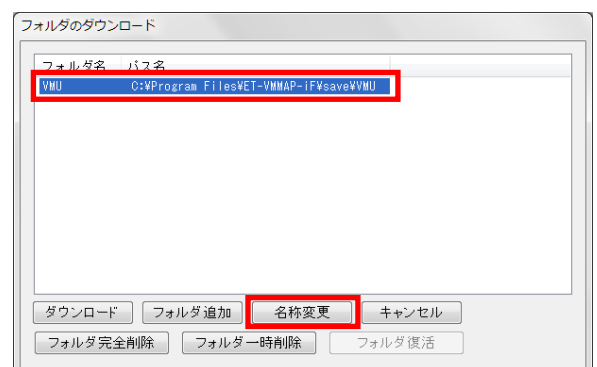
設定したダウンロード先フォルダの名前を変更することができます。必要なときに行ってください。

- 1 主装置にログインし、メイン画面の ボタンをクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、名前を変更したいフォルダを選び、 ボタンをクリックする

※フォルダのダウンロード(☞2-9 ページ)を実施したフォルダ(パス名の先頭に「*」を表示)も名称変更することができます。
※中止する場合は ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



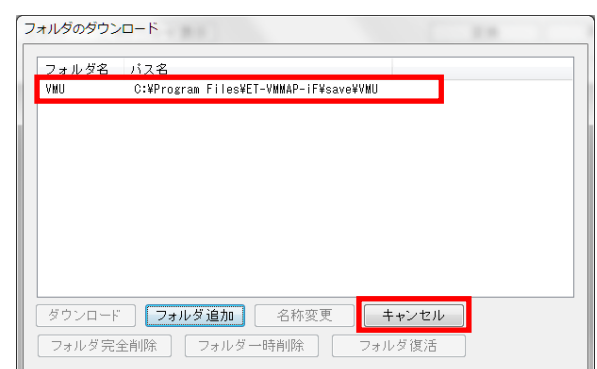
- 3 「フォルダ名称変更」画面となるので、新しい名前を入力し、 ボタンをクリックする

※中止する場合は ボタンをクリックしてください。手順2の画面に戻ります。



- 4 「フォルダのダウンロード」画面のフォルダ名とパスが変更した内容に変更される

※終了する場合は ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。
※続けてフォルダのダウンロードを行う場合は、ダウンロード先フォルダを選び、 ボタンをクリックします。(☞2-9 ページ)



2. 基本操作

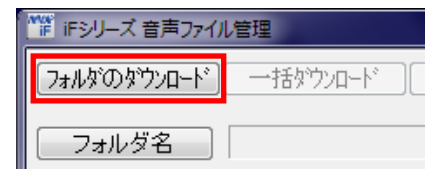
■ダウンロード先フォルダを削除する

設定したダウンロード先フォルダを完全削除/一時削除/復活することができます。必要なときに行ってください。

<ダウンロード先フォルダの完全削除>

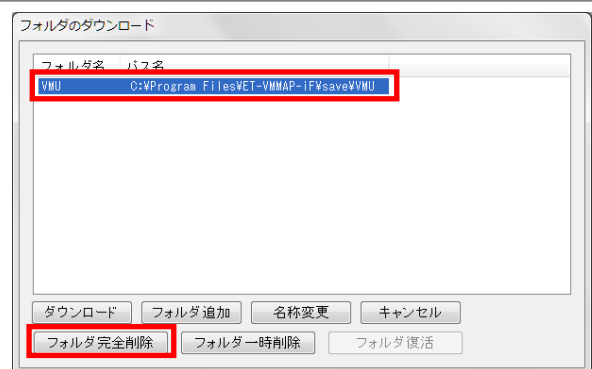
設定したダウンロード先フォルダを完全削除することができます。ただし、フォルダのダウンロード(2-9 ページ)または各種メッセージのダウンロード(2-12 ページ)を実施したフォルダは削除できません。いったん削除すると復活できませんのでご注意ください。

- 1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダのダウンロード** ボタンをクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、削除したいフォルダを選び、**フォルダ完全削除** ボタンをクリックする

※フォルダのダウンロード(2-9 ページ)を実施したフォルダ(パス名の先頭に「*」を表示)は、削除できません。
※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「削除の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** ボタンをクリックする

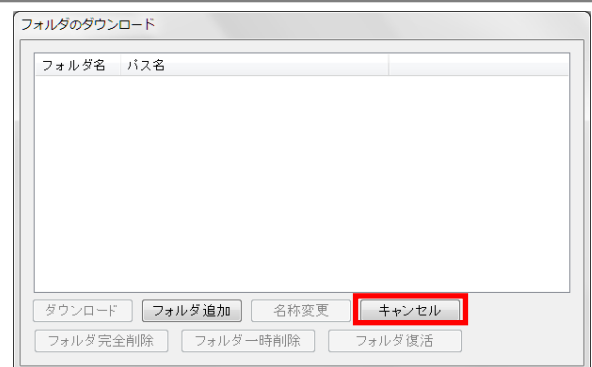
※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「削除の再確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** で、ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

- 5 削除が完了すると「フォルダのダウンロード」画面から対象フォルダが削除される

※終了する場合は **キャンセル** ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。



ご注意

- 本章の「■ダウンロード先のフォルダを作成する」の手順3で、「ここで作成するフォルダも本アプリケーション専用のフォルダとしてください。」と説明していますが、すでに存在しているフォルダを指定した場合、そのフォルダの直下のフォルダが「ファイルのダウンロード」画面にすべて表示されます。フォルダの構成によっては「フォルダのダウンロード」画面で削除することができます。フォルダを削除するとフォルダ内のデータも削除されます。ゴミ箱には残りませんので注意してください。

2. 基本操作

＜ダウンロード先フォルダの一時削除＞

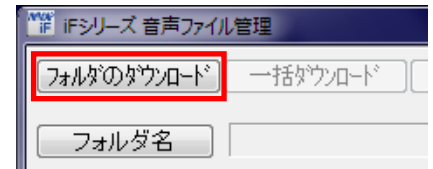
設定したダウンロード先フォルダを一時削除することができます。

ただし、フォルダのダウンロード(☞2-9 ページ)または各種メッセージのダウンロード(☞2-12 ページ)を実施したフォルダは削除できません。

一時削除されたフォルダは、復活することができます。(☞2-8 ページ)

1

主装置にログインし、メイン画面の **フォルダのダウンロード** ボタンをクリックする

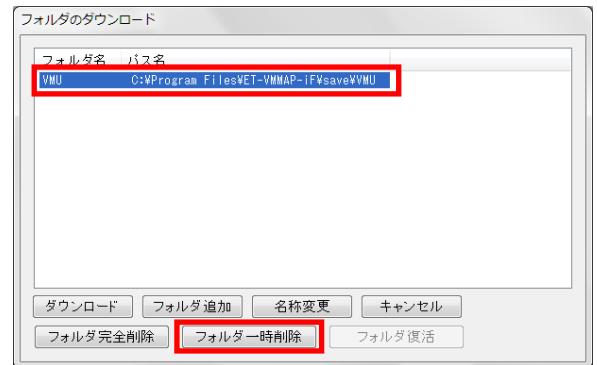


2

「フォルダのダウンロード」画面となるので、一時削除したいフォルダを選び、**フォルダー一時削除** ボタンをクリックする

※フォルダのダウンロード(☞2-9 ページ)を実施したフォルダ(パス名の先頭に「*」を表示)は、一時削除できません。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3

「削除の確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

4

一時削除が完了すると「フォルダのダウンロード」画面から対象フォルダが削除される

※終了する場合は **キャンセル** ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。



ご注意

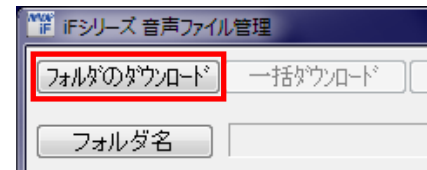
- 一時削除されたフォルダを完全削除する場合は、いったんフォルダを復活(☞2-8 ページ)させてから完全削除(☞2-6 ページ)を行ってください。

2. 基本操作

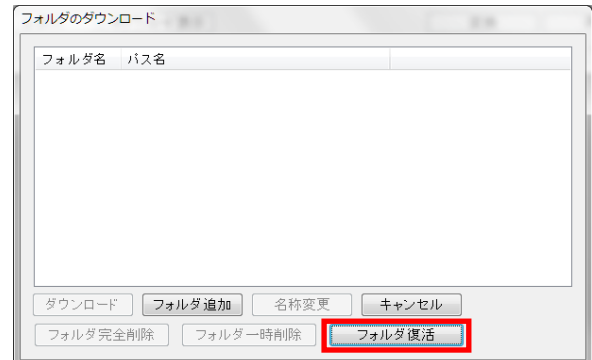
<ダウンロード先フォルダの復活>

一時削除(☞2-7 ページ)したダウンロード先フォルダを復活することができます。

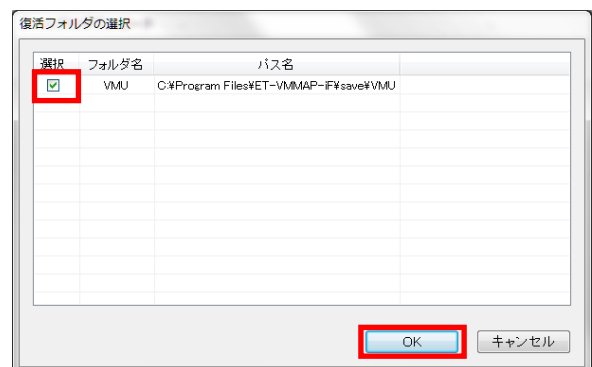
- 1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダのダウンロード** ボタンをクリックする



- 2 「フォルダのダウンロード」画面となるので、**フォルダ復活** ボタンをクリックする
- ※一時削除されたフォルダが無い場合は、**フォルダ復活** ボタンはグレーアウトになっています。
- ※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 「復活フォルダの選択」画面となり、復活可能なフォルダ一覧が表示されるので、復活したいフォルダの左欄のチェックボックスを選び、**OK** ボタンをクリックする
- ※やり直す場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。手順2の画面に戻ります。



- 4 フォルダの復活が完了したら、復活したフォルダも表示された「フォルダのダウンロード」画面に戻る

※終了する場合は **キャンセル** ボタンをクリックします。メイン画面に戻ります。



2. 基本操作

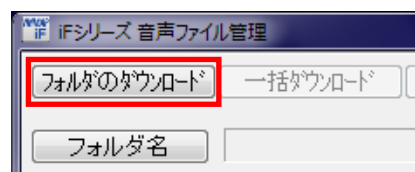
[2]ボイスメモのフォルダをダウンロードする

必須

ダウンロード先のフォルダを作成したら、フォルダのダウンロードを行います。はじめて本アプリケーションを使うときは、必ず行ってください。フォルダのダウンロードを行うと、パソコン内にボイスメモのボックスと同じ構成のボックスフォルダが作成されます。

1

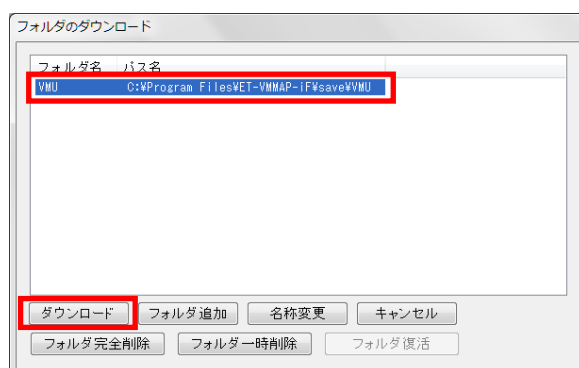
主装置にログインし、メイン画面の **フォルダのダウンロード** ボタンをクリックする



2

「フォルダのダウンロード」画面となるので、ダウンロード先のフォルダを選び、**ダウンロード** ボタンをクリックする

- ※ **ダウンロード** ボタンがグレーアウトしているときは、ログアウトしていますので、ログインしてください。
- ※フォルダのダウンロードを実施すると、パス名の先頭に「*」が表示されます。
- ※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3

「ダウンロード確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** ボタンをクリックする

- ※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

4

「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

- ※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。手順2の画面に戻ります。ボックスフォルダは作成されません。

5

「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックする

6

メイン画面に戻る

- ※ **フォルダ名** ボタンの右枠には、手順2で選んだフォルダが表示されます。

補足説明

- フォルダのダウンロードを実施してあるフォルダに再度フォルダのダウンロードを実施すると、パソコン内に存在しないボックスフォルダのみが追加されます。ボイスメモに存在しないボックス番号のフォルダは削除されずそのまま残ります。
- 使用しているかどうかにかかわらず、ボイスメモで管理しているすべてのフォルダが作成されます。

ご注意

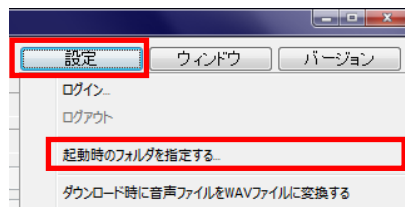
- 主装置の内線番号を変更したときは、内線BOXのBOX番号も変更になります。フォルダのダウンロードをやり直してください。なお、内線番号の変更があった場合、ダウンロード先のフォルダを新規に作成することを強くおすすめします。これまでとは別のフォルダを作成してください。(☞2-4 ページ)

2. 基本操作

[3] 起動時のフォルダを指定する

本アプリケーションを起動した場合、前回終了したときのフォルダを開くか、指定のフォルダを開くかを設定できます。ダウンロード先フォルダをいくつか作成している場合など、必要に応じて設定してください。初期設定は「起動時に前回のフォルダを開く」になっています。

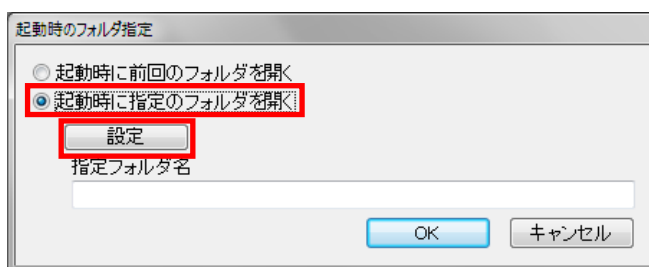
1 設定メニューの「起動時のフォルダを指定する...」をクリックする



2 「起動時のフォルダ指定」画面となるので、「起動時に指定のフォルダを開く」を選び、「設定」ボタンをクリックする

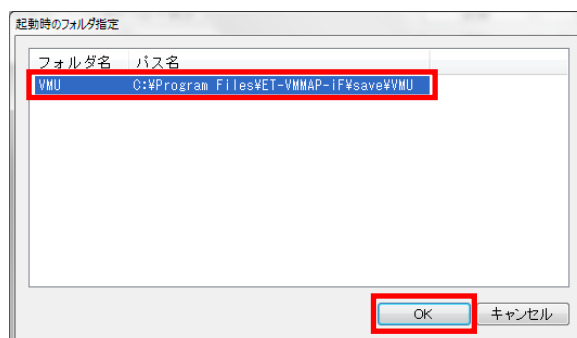
※すでにフォルダの指定がある場合は、「起動時に指定のフォルダを開く」がチェックされ、「指定フォルダ名」にフォルダ名が表示されます。

※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



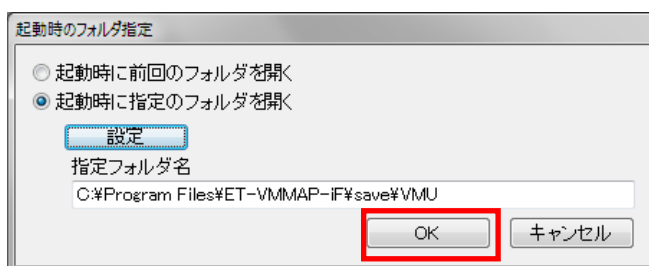
3 フォルダを選ぶ画面となるので、フォルダを選び、「OK」ボタンをクリックする

※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。手順2の画面に戻ります。



4 「起動時のフォルダ指定」画面の「指定フォルダ名」欄に手順3で選んだフォルダ名が表示されるので、「OK」ボタンをクリックして終了する

※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



2. 基本操作

補足説明

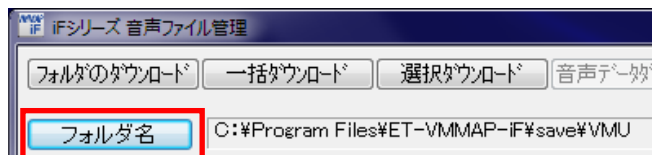
- 「起動時に前回のフォルダを開く」に設定してアプリケーションを起動すると、フォルダおよびボックスの録音情報一覧は前回は終了したときの状態で表示されます。
- 「起動時に指定のフォルダを開く」に設定してアプリケーションを起動すると、指定したフォルダの録音情報一覧を表示していたときは、そのフォルダおよびボックスの録音情報一覧は前回は終了したときの状態で表示されます。別のフォルダの録音情報一覧を表示していたときは、フォルダのみが指定され、録音情報一覧は表示されません。 **ボックス** ボタンをクリックし、ボックスを指定してください。
- 「起動時に指定のフォルダを開く」の状態から「起動時に前回のフォルダを開く」に変更したあとに、「起動時に指定のフォルダを開く」に戻したときは、フォルダを再び指定する必要があります。

[4]ダウンロード先や録音情報を表示するフォルダを変更する

本アプリケーションではダウンロード先フォルダをいくつか設定することができます。例えば、年や月の期間ごとにダウンロード先フォルダを変更し、録音情報を管理するといった使い方ができます。ダウンロード先フォルダをいくつか設定している場合は、下記の操作でフォルダを変更してください。

1 メイン画面の **フォルダ名** ボタンをクリックする

※ **フォルダ名** ボタンの右枠には、現在指定しているフォルダ名が表示されます。



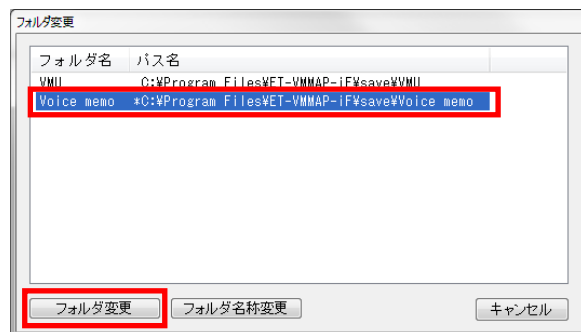
2 「フォルダ変更」画面となるので、フォルダを指定し **フォルダ変更** ボタンをクリックする

※フォルダのダウンロード(☞2-9 ページ)を行っていないフォルダは表示されません。

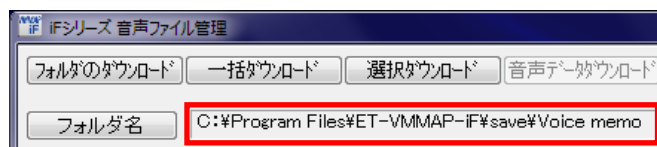
※各種メッセージをダウンロードしていないフォルダは、パス名の先頭に「*」が表示されます。ダウンロードしているフォルダには「*」が表示されません。

※ **フォルダ名称変更** ボタンをクリックすると、フォルダ名を変更することもできます。
「フォルダ名称変更」画面が表示されますので、フォルダ名称を変更して **OK** ボタンをクリックしてください。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3 メイン画面に戻るので、**フォルダ名** ボタンの右枠が手順2で指定したフォルダ名に変更されていることを確認する



補足説明

- ダウンロード先フォルダの作成方法は、「■ダウンロード先フォルダを作成する」(☞2-4 ページ)をご覧ください。
- 各種メッセージのダウンロード先フォルダの指定は **フォルダ名** ボタンで行いますが、ボイスメモ内のフォルダをダウンロードするときのダウンロード先の指定は **フォルダのダウンロード** ボタンで行います。(☞2-9 ページ)

2. 基本操作

各種メッセージのダウンロード

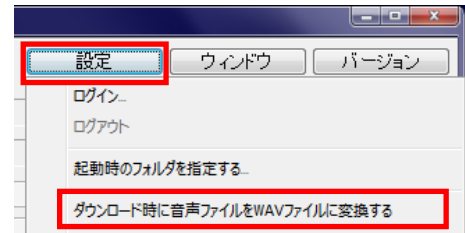
[1]ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する

ボイスメモからダウンロードする音声ファイルは独自形式のファイルのため、再生するときはパソコンで再生可能な WAV ファイルに変換して再生しますが、ダウンロード時に WAV ファイルに変換しておくこともできます。WAV ファイルに変換していない場合には、再生するまで時間がかかります。ダウンロード時に変換しておく、すぐに再生することができます。ただし、ダウンロード時間は通常よりもかかりますので、必要に応じて設定してください。初期状態は変換しない設定になっています。

1

主装置にログインし、設定メニューの「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」をクリックする

- ※「設定メニュー」を開いたとき、設定があるとチェックマーク(✓)が表示されます。
- ※操作するたびに、設定の有無が変化します。



補足説明

- WAV ファイルに変換した場合でも、元の音声ファイルは消去されません。
- WAV ファイルのみを消去することもできます。(➡2-27 ページ)
- チェックしておくと、バックアップ(➡3-20 ページ)の際にも変換されます。

ご注意

- ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する場合、長時間録音した音声ファイルがあると、お使いの環境により「通信エラーが発生しました。」のエラー画面が表示されることがあります。エラーが発生する場合は、「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」のチェックマーク(✓)を外して、もう一度ダウンロードしてください。WAV ファイルへの変換は、再生するときや録音情報一覧で行うことができます。(➡2-24、3-4、3-5 ページ)

2. 基本操作

[2]すべてのボックスを一括ダウンロードする

すべてのボックスのダウンロード時は必須

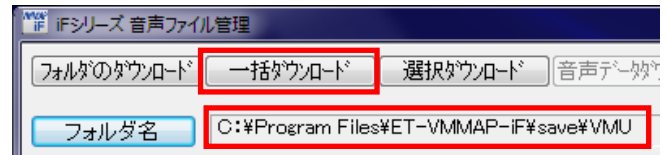
ボイスメモに録音されているすべての留守録BOX・内線BOXの録音情報／音声ファイルと、システム応答メッセージをダウンロードします。

録音情報、音声ファイルとシステム応答メッセージを同時にダウンロードするモードと、録音情報のみダウンロードするモードを選べます。録音情報のみダウンロードした場合でも、音声ファイルは後からダウンロードすることができます。

1

主装置にログインし、メイン画面の ボタンの右枠に表示されているフォルダが、ダウンロード先のフォルダであることを確認し、
 ボタンをクリックする

※フォルダを変更する場合は ボタンをクリックしてください。(☞2-11 ページ)



2

「ダウンロード種別」画面となるので、次のどちらかのボタンをクリックする

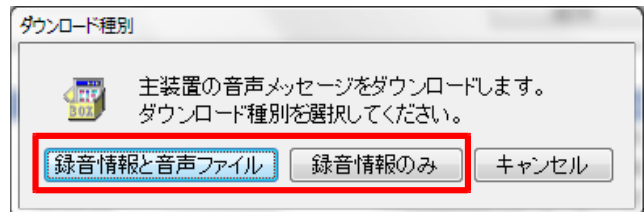
ボタン:

録音情報、音声ファイル、システム応答メッセージを同時にダウンロードします。

ボタン:

録音情報のみダウンロードします。

※中止する場合は ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3

「ダウンロード確認」画面が表示されるので、ダウンロードしてよい場合は ボタンをクリックする

※やり直す場合は ボタンをクリックしてください。手順2の画面に戻ります。

4

「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※すでにダウンロードされているメッセージはダウンロードされません。

※「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」が設定してある場合(☞2-12 ページ)、「ダウンロード中」画面は「ファイルをダウンロード中です。」の画面と「WAV ファイルに変換中です。」の画面が交互に表示されます。

※ダウンロードを中止する場合は ボタンをクリックしてください。ダウンロードが完了したファイルのみパソコン内に保存されます。

5

「ダウンロード完了」画面が表示されたら、 ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」が設定してある場合は、WAV 変換まで完了すると「ダウンロード完了」画面が表示されます。

2. 基本操作

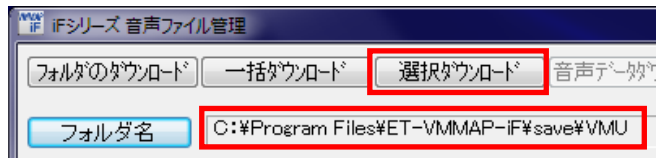
[3] ボックスを選んでダウンロードする

ボックスを選んでダウンロードする時は必須

留守録BOX・内線BOXの録音情報／音声ファイルと、システム応答メッセージを選んでダウンロードします。
録音情報と音声ファイルを同時にダウンロードするモードと、録音情報のみダウンロードするモードを選べます(システム応答メッセージには録音情報はありません)。録音情報のみの場合、音声ファイルは後からダウンロードすることができます。

1

主装置にログインし、メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダが、ダウンロード先のフォルダであることを確認し、**選択ダウンロード** ボタンをクリックする



※フォルダを変更する場合は **フォルダ名** ボタンをクリックしてください。(☞2-11 ページ)

2

「ボックス/システム応答メッセージ選択」画面となるので、ダウンロードしたいメッセージ種別とBOX 番号を選び、どちらかのダウンロードボタンをクリックする

ダウンロードするメッセージを選ぶ

BOX 選択: 各ボックスに録音されているメッセージをダウンロードする場合に設定します。BOX 番号も選びます。

システム応答メッセージ: システム応答メッセージをダウンロードする場合に設定します。

録音情報と音声ファイル ボタン: 録音情報と音声ファイルを同時にダウンロードします。

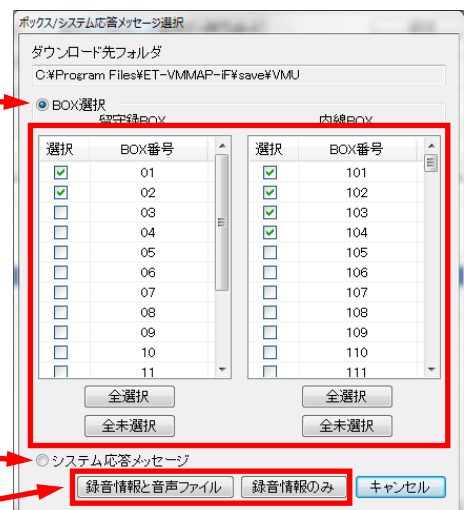
録音情報のみ ボタン: 録音情報のみダウンロードします。

全選択 ボタン: すべてのボックスが選択されます。

全未選択 ボタン: すべてのボックスが未選択となります。

※音声メッセージ移動・コピー専用で作成したボックス(☞3-7 ページ)は表示されません。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



ダウンロードボタン

3

「ダウンロード確認」画面が表示されるので、ダウンロードしてよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「ボックス選択」画面に戻ります。

4

「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※すでにダウンロードされているメッセージはダウンロードされません。

※「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」が設定してある場合(☞2-12 ページ)、「ダウンロード中」画面は「ファイルをダウンロード中です。」の画面と「WAV ファイルに変換中です。」の画面が交互に表示されます。

※ダウンロードを中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。ダウンロードが完了したファイルのみパソコン内に保存されます。

5

「ダウンロード完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」が設定してある場合は、WAV 変換まで完了すると「ダウンロード完了」画面が表示されます。

2. 基本操作

ご注意

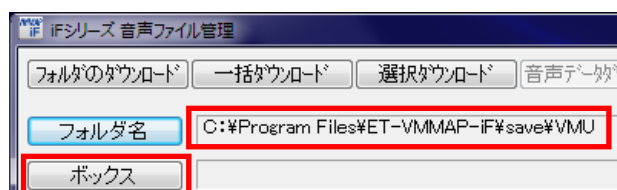
- メッセージを主装置からダウンロードしたあとで以下の操作をした場合、その録音情報を本アプリケーションに反映させることはできません。
 - ・主装置でメッセージの名称を変更した。
 - ・主装置でメッセージを再生した。
- ダウンロードしたあとは、必ず本アプリケーションで名称を変えるか、データを消去(2-25 ページ)してもう一度ダウンロードしてください。

[4] 録音情報をダウンロードした後に音声ファイルをダウンロードする

録音情報のみダウンロード時は必須

録音情報のみダウンロードした場合でも、後から音声ファイルをダウンロードすることができます(システム応答メッセージでは機能しません)。

- 1 主装置にログインし、メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダが、ダウンロード先のフォルダであることを確認し、**ボックス** ボタンをクリックする



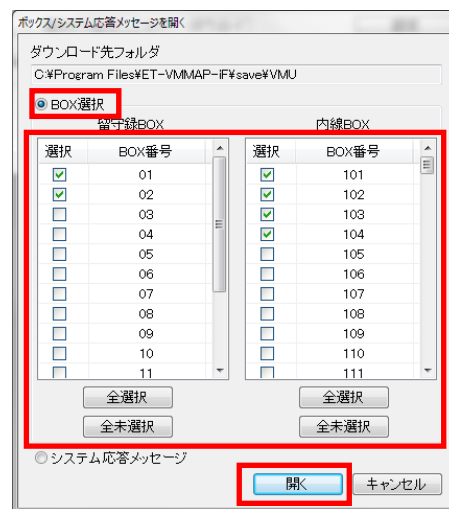
※フォルダを変更する場合は **フォルダ名** ボタンをクリックしてください。(2-11 ページ)

- 2 「ボックス/システム応答メッセージを開く」画面となるので
- ・「BOX 選択」を選び、
 - ・録音情報一覧を開く BOX にチェックを入れ、**開く** ボタンをクリックする


全選択 ボタン: すべてのボックスが選択されます。

全未選択 ボタン: すべてのボックスが未選択となります。

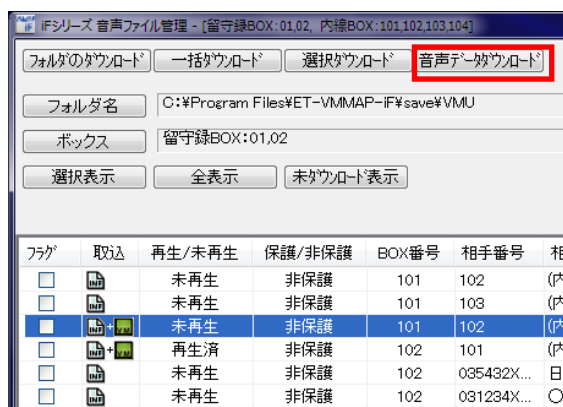
※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 メイン画面の録音情報一覧で音声ファイルをダウンロードしたい行を選び、**音声データダウンロード** ボタンをクリックする

※「取込」欄のアイコンが  になっている行は、音声ファイルがダウンロードされていません。

※録音情報一覧をクリックすると行が選ばれます。複数の行を選ぶこともできます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

2. 基本操作

4

「ダウンロード確認」画面が表示されるので、ダウンロードしてよい場合は ボタンをクリックする

※中止する場合は ボタンをクリックしてください。メイン画面(手順3の状態)に戻ります。

5

「ダウンロード中」画面となり、進行状況が表示される

※すでにダウンロードされている音声ファイルはダウンロードされません。

※「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」が設定してある場合(☞2-12 ページ)、「ダウンロード中」画面は「ファイルをダウンロード中です。」の画面と「WAV ファイルに変換中です。」の画面が交互に表示されます。

※ダウンロードを中止する場合は ボタンをクリックしてください。中止してもダウンロードが完了したファイルはパソコン内に保存されます。

6

「ダウンロード完了」画面が表示されたら、 ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」が設定してある場合は、WAV 変換まで完了すると「ダウンロード完了」画面が表示されます。

補足説明

- 音声ファイルをダウンロードしていない録音情報がある場合は、手順3でメイン画面の ボタンがアクティブ表示となります。このボタンをクリックすると、音声ファイルをダウンロードしていない録音情報のみを表示することができます。 ボタンをクリックするとすべてが表示されます。
- システム応答メッセージの一覧表示では、 ボタンはグレーアウトされ、動作させることはできません。

2. 基本操作

[5] 録音情報／音声ファイルのダウンロード時に表示されるエラー画面について

ボイスメモから録音情報／音声ファイルをダウンロードするとき、ボイスメモの音声メッセージの状況やパソコンの状況によってはエラー画面が表示される場合があります。

エラー画面の表示	エラーとなった原因
音声ファイルはすでに消去されています。	消去された音声メッセージをダウンロードした。 (消去された音声メッセージのみをいくつかダウンロードした場合も含みます)
PC のメモリ不足です。	パソコンのメモリ(ハードディスクなどの空き容量)が不足しています。
PC のメモリ不足です。 常時ダウンロード機能を解除します。 メモリを確保したあとで再設定してください。	
一部の音声ファイルがダウンロードできませんでした(音声ファイルなし)。	消去された音声メッセージを含めてダウンロードしようとした。 (いくつかの音声ファイルをダウンロードしたとき) ※消去されていない音声ファイルのみパソコンに保存されます。
一部の音声ファイルがダウンロードできませんでした(PC のメモリ不足)。	パソコンのメモリ(ハードディスクなどの空き容量)が不足しています。 (いくつかの音声ファイルをダウンロードしたとき) ※メモリ不足になる前にダウンロードできたファイルのみパソコンに保存されます。
通信エラーが発生しました。	パソコンと主装置との通信が途切れました。 ※いくつかの録音情報や音声ファイルをダウンロード時は、通信エラーとなる前にダウンロードできたファイルのみパソコンに保存されます。また、WAV ファイルに変換中だった場合は、WAV 変換完了後にエラー画面を表示します。 ※ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する場合、長時間録音した音声ファイルがあると、パソコンのスペックや動作環境により通信エラーとなることがあります。エラーが発生する場合は、「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」のチェックマーク(✓)を外し、再度ダウンロードしてください。WAV ファイルへの変換は、再生時や録音情報一覧で音声メッセージを選択したときに行うことができます。(P.2-24、3-4、3-5 ページ)

補足説明

- 複数のエラー内容がある場合は、表示しているエラー画面の ボタンをクリックすると次のエラー画面が表示されます。

2. 基本操作

録音情報を表示する

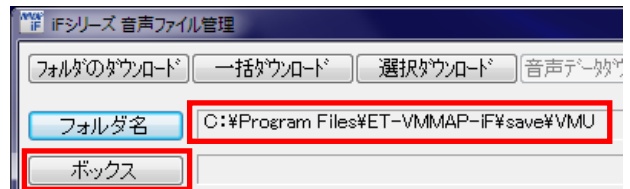
[1] 録音情報一覧を表示する

必須

ダウンロードした録音情報を一覧表示することができます。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダが録音情報を表示したいフォルダであることを確認し、**ボックス** ボタンをクリックする

※フォルダを変更する場合は **フォルダ名** ボタンをクリックしてください。(2-11 ページ)

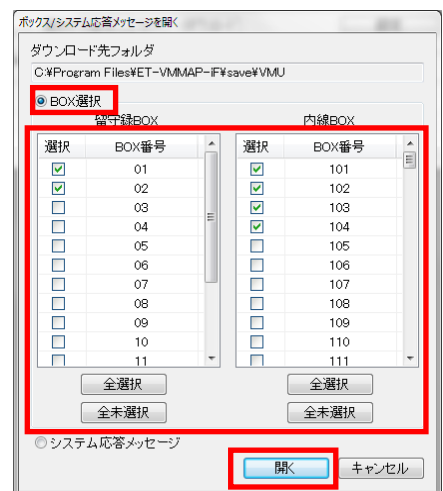


- 2 「ボックス/システム応答メッセージを開く」画面となるので、
・「BOX 選択」を選び、
・録音情報一覧を開く BOX にチェックを入れ、
開く をクリックする

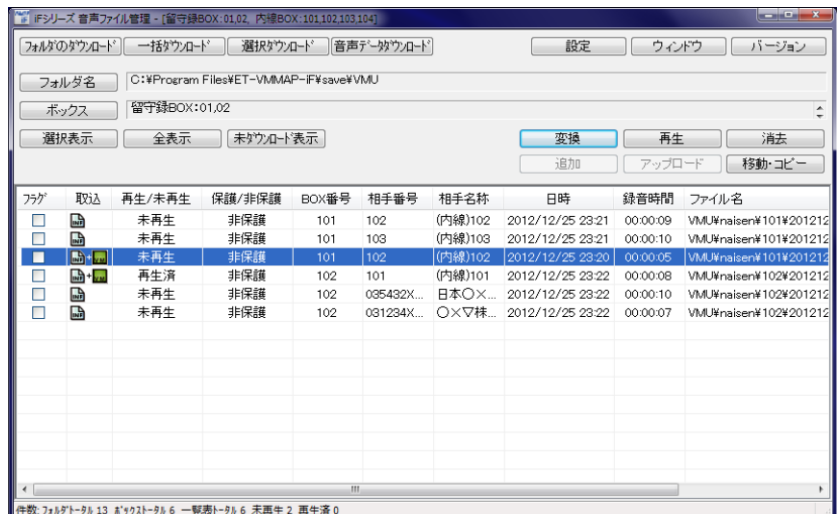
全選択 ボタン: すべてのボックスが選択されます。

全未選択 ボタン: すべてのボックスが未選択となります。

※すでに一覧表示している BOX はグレーアウトとなり指定できません。
新たに指定した BOX は別ウィンドウとして表示されます。
※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 3 メイン画面に録音情報一覧が表示される



補足説明

- 録音情報一覧の各項目の詳しい説明は、1-10 ページをご覧ください。
- 録音情報一覧を開くまで時間がかかる場合があります。
- 音声ファイルをダウンロードしていない録音情報がある場合は、手順3でメイン画面の **未ダウンロード表示** ボタンがアクティブ表示となります。このボタンをクリックすると、音声ファイルをダウンロードしていない録音情報のみを表示することができます。 **全表示** ボタンをクリックするとすべてが表示されます。
- 録音情報一覧を表示中に、対象の BOX の録音情報をダウンロード(2-13、2-14 ページ)したあとに **全表示** ボタンをクリックすると、録音情報一覧が更新されます。

2. 基本操作

ご注意

- メイン画面に表示される録音情報一覧は最大化表示で表示されます。最大化表示されている録音情報一覧は、閉じることができません。録音情報一覧を閉じる場合は、メイン画面の **ウィンドウ** ボタンをクリックし、いずれかの表示方法を選んでからウィンドウの **✕** ボタンをクリックしてください。

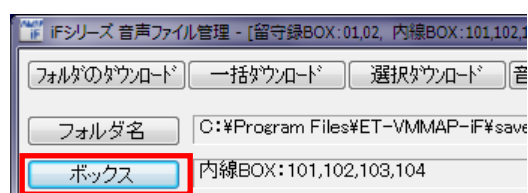
[2]録音情報一覧を複数表示する

同じフォルダ内であれば、最大4つまでの録音情報一覧を表示できます。

1つの録音情報一覧で複数のBOXの情報を表示できますが、複数の録音情報一覧に分けて表示することもできます。留守録BOXとお使いの内線BOXの録音情報一覧を並べて表示するなど、いろいろな組み合わせでご利用いただけます。

1

録音情報一覧を表示している状態で、**ボックス** ボタンをクリックする



2

「ボックス/システム応答メッセージを開く」画面となるので、新たに録音情報一覧を表示したい BOX にチェックを入れ、**開く** をクリックする

全選択

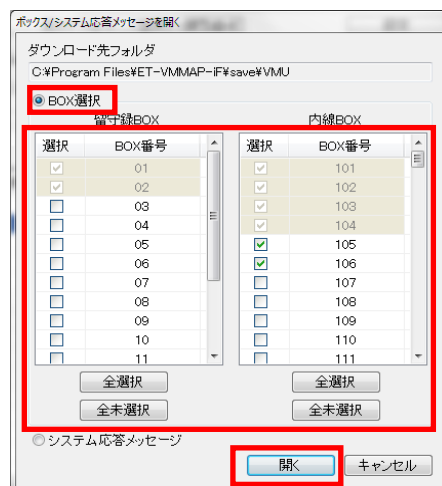
ボタン: すべてのボックスが選択されます。

全未選択

ボタン: すべてのボックスが未選択となります。

※すでに一覧表示している BOX はグレーアウトとなり指定できません。再指定する場合は、該当する録音情報一覧を閉じてください。閉じる場合は、メイン画面の **ウィンドウ** ボタンをクリックしていずれかの表示方法を選んでからウィンドウの **✕** ボタンをクリックしてください。

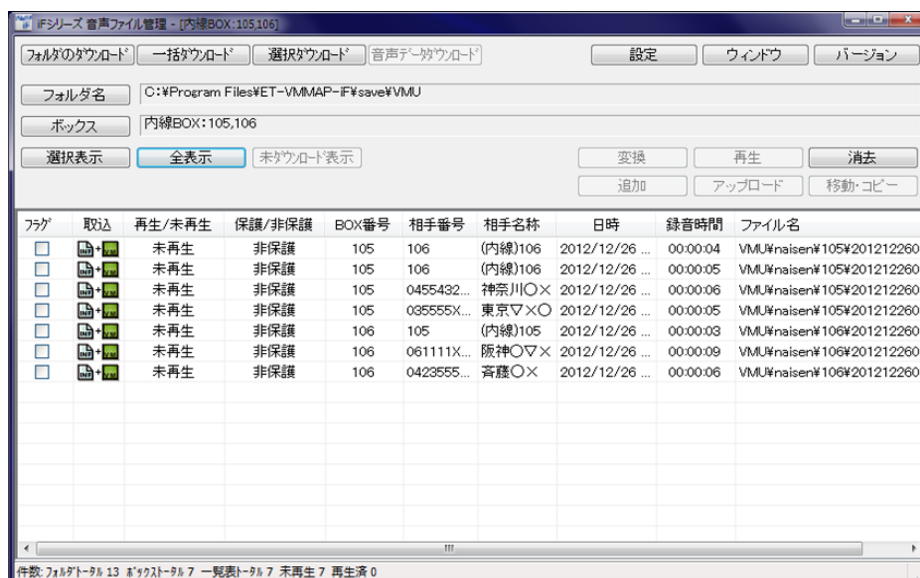
※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3

メイン画面に新しく開いた BOX の録音情報一覧が表示される

※新たに指定した BOX は別ウィンドウとして最大化表示されます。

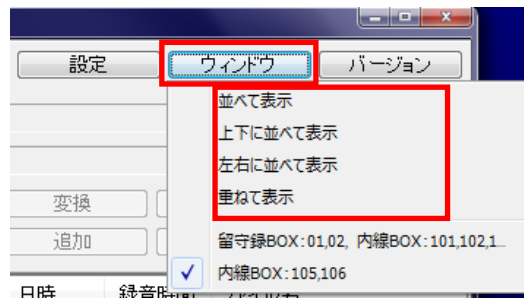


2. 基本操作

4

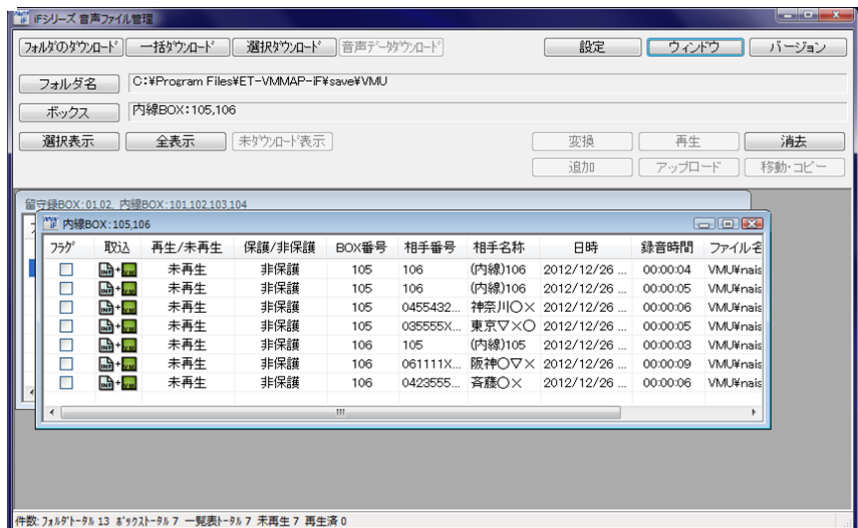
メイン画面の **ウィンドウ** ボタンをクリックし、表示方法を選ぶ

※お好みの表示方法を選んでください。



5

手順4で指定した表示方法で複数の録音情報一覧が表示される
(画面は「重ねて表示」の例)



補足説明

- 録音情報一覧は4つまでしか開けません。4つ以上を開こうとすると「開ける一覧表が上限に達しています。」というエラー画面が表示されます。
- 録音情報一覧をいくつか表示しているとき、**ウィンドウ** ボタンをクリックすると、表示方法と現在開いている録音情報一覧のリスト(対象の BOX 番号)を表示できます。アクティブになっている録音情報一覧にはチェックマーク(✓)が表示されます。このリストをクリックすると録音情報一覧を切り替えることができます。
- ボックス** ボタンの右枠には、アクティブな録音情報一覧に表示している BOX 番号が表示されます。
- メイン画面の各機能ボタンは、アクティブな録音情報一覧に対して機能します。

ご注意

- 同時に表示できるのは同じフォルダ内のボックスのみです。別のフォルダを指定すると、開いている録音情報一覧はすべて閉じられます。
- メイン画面に表示される録音情報一覧は最大化表示で表示されます。最大化表示されている録音情報一覧は、閉じることができません。録音情報一覧を閉じる場合は、メイン画面の **ウィンドウ** ボタンをクリックしていずれかの表示方法を選んでからウィンドウの **閉じる** ボタンをクリックしてください。

2. 基本操作

[3]条件を絞り込んで録音情報一覧を表示する

録音情報一覧の各項目に条件を指定し、条件に合った録音情報のみを絞り込んで表示することができます。

- 1 録音情報一覧を表示している状態で、
選択表示 ボタンをクリックする



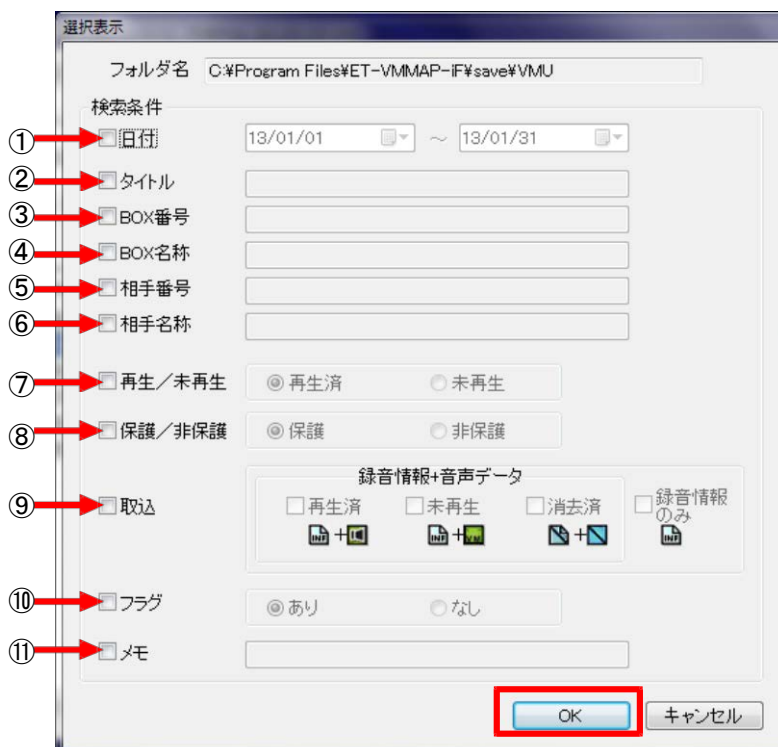
- 2 「選択表示」画面となるので、必要な項目にチェックを入れてそれぞれの条件を設定し、
OK ボタンをクリックする

要件メッセージの設定画面

※複数の項目を選ぶことができます。各検索条件に関しては、次ページの表をご覧ください。

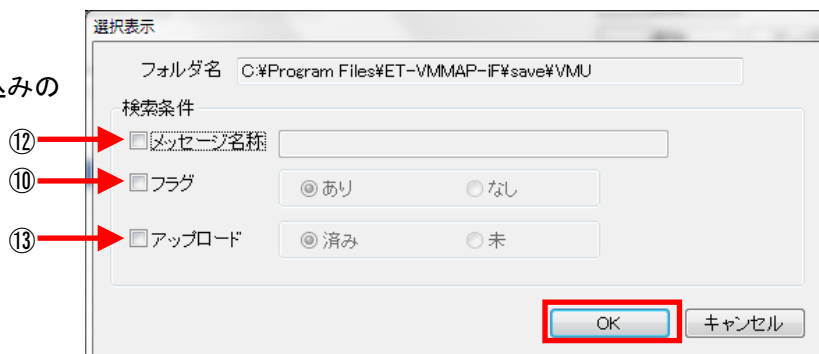
※検索条件を空欄にした場合は、該当する項目が空欄のものを検索します。

※中止する場合は キャンセル ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



システム応答メッセージの設定画面

※システム応答メッセージでは、絞り込みの対象項目が異なります。




- 3 設定した条件で絞り込まれた録音情報一覧が表示される

※ 全表示 ボタンをクリックするとすべての表示に戻ります。

※設定した条件に該当する録音情報がない場合は、「該当するメッセージがありません。」のエラー画面が表示されます。 OK ボタンをクリックするとメイン画面に戻ります。

2. 基本操作

各項目の絞り込み(抽出する)条件

番号	項目	入力方法／選択方法
①	日付	<p>抽出する期間を入力します。範囲が一日の場合は、開始と終了に同じ日付を入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接入力する場合: 年(4桁)/月(2桁)/日(2桁)をすべて半角で入力します。(例: 2009/09/01) ・カレンダーを表示して入力する場合: 日付入力欄の右のアイコンをクリックするとカレンダー画面(右図)が表示されますので、日付をクリックしてください。 <p>年月を切り替える場合に操作する。</p> <p>今日の日付を入力する。</p> <p>カレンダー画面からの入力を中止する場合は、カレンダー画面以外の部分をクリックしてください。</p> 
②	タイトル	<p>入力した文字列で始まるタイトルを抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角20文字/半角40文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※ダウンロードした録音情報には含まれません。「録音情報編集」画面(☞3-12 ページ)で入力します。</p>
③	BOX 番号	<p>入力した英数字で始まる BOX 番号を抽出します。</p> <p>検索する BOX 番号を半角英数字4文字以内で入力してください。</p> <p>(内線 BOX: 数字 1~4 桁、留守録 BOX: R01~R15)</p>
④	BOX 名称	<p>入力した文字列で始まる BOX 名称を抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角5文字/半角10文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※BOX 名称欄はダウンロードした録音情報には含まれません。「BOX 名称編集」画面(☞3-14 ページ)で入力します。</p>
⑤	相手番号	<p>入力した数字で始まる相手の電話番号を抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。半角32文字以内(/全角16文字以内)で入力してください。</p> <p>※ダウンロードした録音情報に含まれる電話番号は半角数字のみですが、「録音情報編集」画面(☞3-12 ページ)で電話番号の編集が可能のため、半角数字以外も入力可能になっています。</p>
⑥	相手名称	<p>入力した文字列で始まる相手名称/非通知理由を抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角16文字/半角32文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※ダウンロードした録音情報には含まれます。「録音情報編集」画面(☞3-12 ページ)で編集することもできます。</p>
⑦	再生／未再生	パソコンで音声メッセージを再生したかどうかを基準に抽出します。
⑧	保護／非保護	保護されているか保護されていないかを基準に抽出します。
⑨	取込	<p>ダウンロード(取込)状態で抽出します。</p> <p>「録音情報+音声データ」は、再生済/未再生/消去済の中から複数を選べます。</p> <p>「録音情報のみ」を選んだ場合は、「録音情報+音声データ」は選べません。</p>
⑩	フラグ	音声情報に付けたフラグ(チェックマーク「✓」)の有無で抽出します。
⑪	メモ	<p>入力した文字列で始まるメモの内容で抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角20文字/半角40文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※ダウンロードした録音情報には含まれません。「録音情報編集」画面(☞3-12 ページ)で入力します。</p>
⑫	メッセージ名称	<p>入力した文字列で始まるメッセージ名称を抽出します。全角/半角、大文字/小文字は区別されます。全角10文字/半角20文字以内で入力してください(*1)。</p> <p>※ダウンロードした録音情報には含まれます。「録音情報編集」画面(☞3-12 ページ)で編集することもできます。</p>
⑬	アップロード	システム応答メッセージがアップロード済みか否かを基準に抽出します。

*1: あいまいな検索が可能なワイルドカードも使用できます。

ワイルドカード文字	意味
% (半角)	0 個以上の文字がその位置に入る。
_ (半角)	1 個の文字がその位置に入る。

2. 基本操作

検索例

入力文字	検 索 結 果		
%株式	× × 株式	× × 株式会社	株式会社 × × ×
新%工業	新日本 × × 工業	新東京 × × 工業(株)	
日本%	日本工業 × ×	(前方一致と同様)	
_日本	○日本	× 日本	
_ _電気	日○電気	関 × 電気	
新_ _会社	新○○会社	新 × × 会社	
関東_	関東 × ×	(前方一致と同様)	

2. 基本操作

音声メッセージを再生する 必須

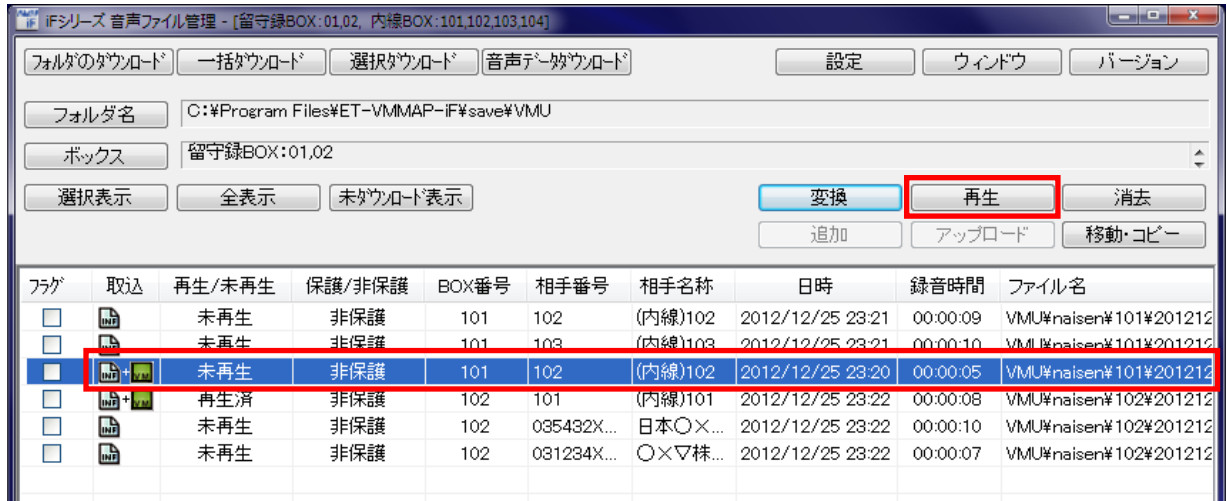
録音情報一覧に表示されている音声メッセージをパソコンで再生することができます。

1

録音情報一覧を表示している状態で、再生したい音声メッセージを選び、再生 ボタンをクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。

※複数のメッセージを選んだ場合は再生できません。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

2

プレーヤーが起動し、音声メッセージが再生される

※再生を停止したり終了したりするときは、起動したプレーヤーで操作を行ってください。

補足説明

- WAV ファイルに変換していない音声メッセージは、WAV ファイルに自動変換してから再生します。変換中は「変換中」画面が表示されます。時間の長い音声メッセージでは数分かかる場合があります。
- 本アプリケーションで変換した WAV ファイルは汎用のプレーヤーで再生されます。Windows 標準のプレーヤー (Windows Media® Player など) での再生を推奨します。WAV ファイルの関連付けが Windows 標準のプレーヤー以外になっている場合でパソコンを使用する上で支障がない場合は、関連付けを変更してください。
※ファイルの関連付けの変更方法につきましては、お使いのパソコンの説明書などをご確認ください。
- Windows Media® Player で再生する場合、再生中に別の音声メッセージを再生するとこれまでの再生を終了し、後から選んだ音声メッセージを再生します。その他のプレーヤーをお使いになるときは、複数のウィンドウが開き同時に再生をすることがありますので、再生するたびにプレーヤーを終了してください。
- 再生を行うと、開始時に「再生/未再生」欄の表示が「再生済」に切り替わります。

ご注意

- 「設定メニュー」で「再生後に WAV ファイルを自動消去する」が設定してあると(☞1-13 ページ)、再生済みの WAV ファイルは本アプリケーション終了時にすべて消去されます。
- 音声ファイルがダウンロードされていない場合は再生できません。音声ファイルをダウンロードしてください。
(☞2-15 ページ)

2. 基本操作

音声メッセージを消去する

[1]一覧表から選んで消去する

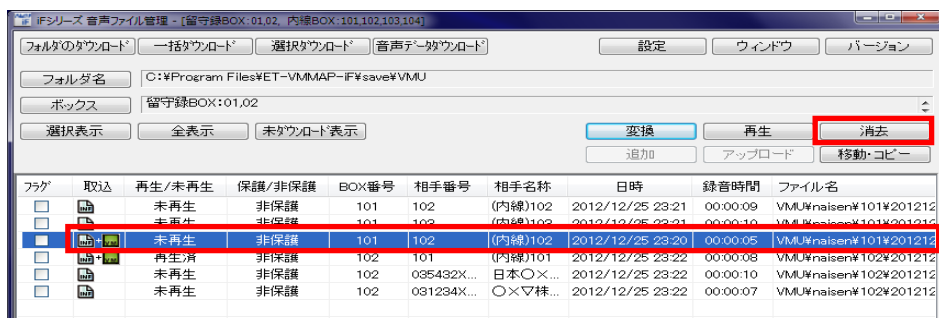
パソコン内の録音情報および音声ファイルを消去できます。また、ボイスメモ内の音声メッセージを消去することもできます。

1

録音情報一覧を表示している状態で、消去したい音声メッセージを選び、**消去** ボタンをクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。

※複数のメッセージを選んで消去することもできます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

2

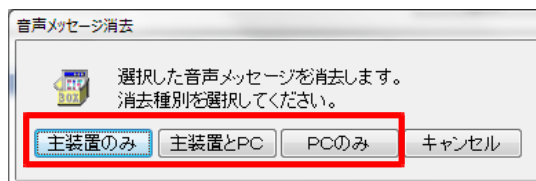
「音声メッセージ消去」画面となるので、いずれかの消去種別ボタンをクリックする

※消去種別は下記のとおりです。

- ・ **主装置のみ** ボタン: ボイスメモの音声メッセージのみ消去する。
- ・ **主装置とPC** ボタン: ボイスメモの音声メッセージとパソコン内の録音情報、音声ファイルを消去する。
- ・ **PCのみ** ボタン: パソコン内の録音情報、音声ファイルを消去する。

ログインしていないときは **PCのみ** ボタンのみ有効です。ボイスメモの音声メッセージを消去するときにはログインしてください。(2-2 ページ)

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3

「消去の確認」画面が表示されるので、消去してよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「音声メッセージ消去」画面に戻ります。


4

「消去中」画面となり、進行状況が表示される

※中断することはできません。

5

「消去完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※ **主装置のみ** ボタンで消去した場合、録音情報一覧の「取込」欄のアイコンは、 に変わります。

※ **主装置とPC** または **PCのみ** ボタンで消去した場合、録音情報一覧から消去されます(録音情報ファイル、音声ファイル、変換した WAV ファイルもすべて消去されます)。

2. 基本操作

補足説明

- ボイスメモの音声メッセージは、ダウンロード先のBOXの録音情報一覧で選んだ場合に消去することができます。移動・コピーを行った場合、移動・コピー先のBOXの録音情報一覧からボイスメモの音声メッセージを消去することはできません。
- 保護されているメッセージ(「保護/非保護」欄の表示が「保護」になっている)は消去されません。

■エラー内容

ボイスメモの音声メッセージの状況やパソコンの状況によってはエラー画面が表示される場合があります。消去種別によって該当するエラー(○)と該当しないエラー(ー)とがあります。

エラー画面の表示	原因と対処方法	消去種別		
		主装置のみ	主装置とPC	PCのみ
音声メッセージは使用中のため消去できません。	指定した音声メッセージは使用中(電話機などで再生中)です。しばらく待ってからやり直してください。	○	○ *1	ー
音声ファイルがダウンロードされていません。	音声ファイルがダウンロードされていません。	○	○	ー
音声メッセージがありません。または「保護」に設定されています。	ボイスメモ内の音声メッセージはすでに消去されているか、移動またはコピーされたものです。	○	○ *1	ー
	指定した音声メッセージは「保護」に設定されています。「非保護」に設定してからやり直してください。	○	○	○
一部の音声メッセージが消去できませんでした(音声メッセージ使用中)。	指定した音声メッセージの一部は使用中(電話機などで再生中)です。しばらく待ってからやり直してください。	○	○ *1	ー
一部の音声メッセージが消去できませんでした(音声ファイル未ダウンロード)。	音声ファイルのうち一部がダウンロードされていません。	○	○ *2	ー
一部の音声メッセージが消去できませんでした(音声メッセージなしまたは「保護」)。	ボイスメモ内の音声メッセージはすでに消去されているか、移動またはコピーされたものです。	○	○ *1	ー
	指定した音声メッセージは「保護」に設定されています。「非保護」に設定してからやり直してください。	○	○	○
通信エラーが発生しました。	パソコンと主装置との通信が途切れしました。接続を確かめて、ログインからやり直してください。	○ *3	○ *3	ー

*1: パソコン内の録音情報、音声ファイルのみが消去されます。

*2: パソコン内の音声情報ファイルのみ消去されます。

*3: 主装置は、通信エラーとなる前までの音声メッセージのみ消去されます。

補足説明

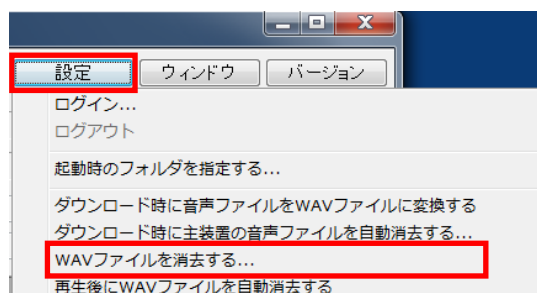
- 複数のエラー内容がある場合は、表示されているエラー画面の ボタンをクリックすると次のエラー画面となります。すべてのエラー画面がなくなるとメイン画面に戻ります。

2. 基本操作

[2]WAV ファイルを消去する

パソコン内で変換した WAV ファイルを消去することができます。

1 設定メニューの「WAV ファイルを消去する...」をクリックする



2 「WAV ファイル消去」画面となるので、消去したいメッセージ種別とBOX 番号を選び、ボタンをクリックする

消去するメッセージを選ぶ

BOX 選択:

各ボックスに保存されている WAV ファイルを消去する場合に設定します。BOX 番号も選びます。

システム応答メッセージ: システム応答メッセージの WAV ファイルを消去する場合に設定します。

全選択

ボタン: すべてのボックスが選択されます。

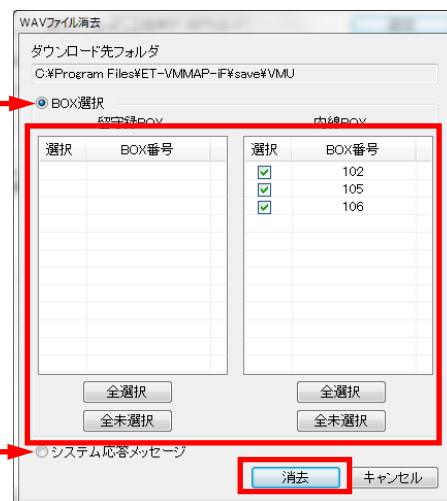
全未選択

ボタン: すべてのボックスが未選択となります。

※WAV ファイルが作成されている BOX 番号のみ表示されます。

※音声メッセージ移動・コピー専用で作成したボックス(⇒3-7 ページ)も対象となります。

※中止する場合は ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3 「WAV ファイル消去確認」画面が表示されるので、消去してよい場合は ボタンをクリックする

※やり直す場合は ボタンをクリックしてください。「WAV ファイル消去」画面に戻ります。

4 「消去中」画面となり、進行状況が表示される

※中断することはできません。

5 「消去完了」画面が表示されたら、 ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

補足説明

- WAV ファイルを消去してもパソコン内の音声ファイルは残ったままです。再度 WAV ファイルに変換して再生することができます。
- 「設定メニュー」で「再生後に WAV ファイルを自動消去する」が設定してあると(⇒1-13 ページ)、再生済みの WAV ファイルは本アプリケーション終了時に消去されます。

ご注意

- WAV ファイルは BOX 単位もしくはシステム応答メッセージ全体で消去されます。メッセージごとの消去はできません。

2. 基本操作

システム応答メッセージを追加する

外部アプリケーション(サウンドレコーダーなど)で録音した音声ファイル(WAV,WMA)を、システム音声メッセージとして読み込み管理することができます。読み込んだシステム応答メッセージは、ボイスメモにアップロード(2-30 ページ)して使うことができます。

1

システム応答メッセージの一覧表を開き、追加したいメッセージ番号を選び、**追加** ボタンをクリックする

※複数のメッセージを選ぶことはできません。

※ファイル名が空白の行にはメッセージはありません。それ以外の行にはメッセージがあります。読み込みを行うとメッセージは上書きされます。

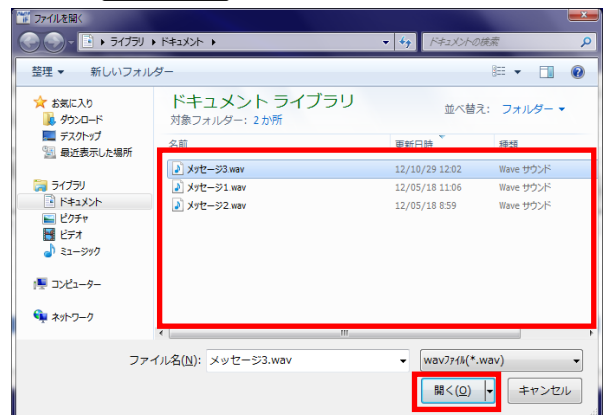
選択表示	全表示	未アップロード表示	変換	再生	消去
			追加	アップロード	移動・コピー
メッセージ番号	フラグ	アップロード	録音時間	システム応答メッセージ名称	ファイル名
001	<input type="checkbox"/>		00:00:05	おはようございます1	VMU#outou#201210291151_MON_A001_0006.vmdat
002	<input type="checkbox"/>		00:00:07	こんにちは	VMU#outou#201212252348_SAT_A002_0007.vmdat
003	<input type="checkbox"/>		00:00:08	こんばんわ	VMU#outou#201210291151_MON_A003_0008.vmdat
004	<input type="checkbox"/>		00:00:09	留守です1	VMU#outou#201210291150_MON_A004_0009.vmdat
005	<input type="checkbox"/>	済み	00:00:06	留守です2	VMU#outou#201210291150_MON_A005_0010.vmdat
006	<input type="checkbox"/>	済み	00:00:05		VMU#outou#201210291213_MON_A006_0000.vmdat
007	<input type="checkbox"/>				
008	<input type="checkbox"/>				

件数: フォルダ総数 14 システム応答メッセージ総数 300 一覧表総数 6

2

「ファイルを開く」画面が表示されるので、ファイルを選んで**開く** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3

「取り込み中」画面が表示され、音声ファイルが読み込まれる

※読み込みに時間がかかる場合があります。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

4

「取り込み完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

2. 基本操作

補足説明

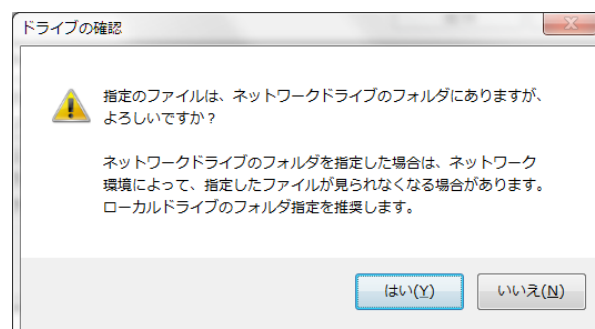
- 追加できるのは以下のフォーマットの音声ファイルです。これら以外のフォーマットは追加できません。

	wave ファイル	WMA ファイル
拡張子	wav	wma
フォーマット	LPCM	Windows Media Audio
サンプリングレート	8kHz	44.1kHz
サンプリングビット数	16bit	16bit
チャンネル数	mono	Stereo, mono

- ・録音時間は 10 分以下にしてください。それ以上の長さのファイルは追加できません。
- ・音声ファイルは Windows 標準アプリケーション「サウンドレコーダー」で録音、作成することを推奨します。
ただし、Windows®10 のパソコンをご使用の場合、Windows 標準アプリケーション「ボイスレコーダー」で録音しても、作成される音声ファイルのフォーマットが上記と違うため、使用できませんのでご注意ください。市販のアプリケーションを使用するなど、別の方法で上記のフォーマットの音声ファイルを作成してください。

ご注意

- ハードディスクに十分な空きがあることを確認してから操作してください。
- 読み込みの際にフォーマットの変換とレベルの調整を行っています。読み込む前の音声データに比べ、音質、音量は変わります。
- 手順2の「ファイルを開く」画面で、指定のファイルがネットワークドライブにある場合、 ボタンをクリックした時に、右記のドライブの確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたファイルが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのフォルダ指定を推奨します。
※右記の画面にて、 ボタンをクリックすると、次項へ進み、 ボタンをクリックすると、前の画面に戻ります。



2. 基本操作

システム応答メッセージをアップロードする

システム応答メッセージをボイスメモにアップロードできます。アップロードしたメッセージは、IVR や留守録機能で使うことができます。アップロードするには主装置にログインする必要があります。

1

主装置にログインし、システム応答メッセージの一覧表を開いて、追加したいメッセージ番号を選び、**アップロード** ボタンをクリックする

※複数のメッセージを選ぶことができます。

※ファイル名が空白の行にはメッセージはありません(アップロードはできません)。

選択表示	全表示	未ダウンロード表示	変換	再生	消去
			追加	アップロード	移動・コピー
メッセージ番号	フラグ	アップロード	録音時間	システム応答メッセージ名称	ファイル名
001	<input type="checkbox"/>		00:00:05	おはようございます1	VMU#outou#201210291151_MON_A001_0006.vmdat
002	<input type="checkbox"/>		00:00:07	こんにちわ	VMU#outou#201212252348_SAT_A002_0007.vmdat
003	<input type="checkbox"/>		00:00:08	こんばんわ	VMU#outou#201210291151_MON_A003_0008.vmdat
004	<input type="checkbox"/>		00:00:09	留守です1	VMU#outou#201210291150_MON_A004_0009.vmdat
005	<input checked="" type="checkbox"/>		00:00:06	留守です2	VMU#outou#201210291150_MON_A005_0010.vmdat
006	<input type="checkbox"/>		---	---	---
007	<input type="checkbox"/>		---	---	---
008	<input type="checkbox"/>		---	---	---

件数: フォルダ: 13 システム応答メッセージ: 300 一覧表: 5

2

「アップロードの確認」画面が表示されるので、**はい(Y)** ボタンをクリックする

3

「アップロード中」画面が表示され、アップロードされる

※アップロードに時間がかかる場合があります。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

4

「アップロード完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

補足説明

- アップロードされたメッセージのアップロード欄には「済み」が表示されます。
- アップロードするメッセージがボイスメモにあるメッセージより新しい場合にはメッセージは上書きされます。ボイスメモにあるメッセージより古いものをアップロードしたいときには、「システム応答メッセージ名称」を別のものに変え、再び元に戻してからアップロードしてください。

ご注意

- 10 分以上の長さのメッセージは、ダウンロードできますがアップロードできません。主装置で録音する際にはメッセージは10 分以内にしてください。

3. その他の操作

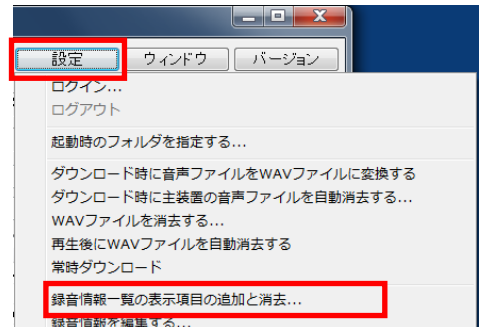
3. その他の操作

一覧表示する項目を追加・消去する

音声メッセージの録音情報一覧に表示する項目を追加したり消去したりすることができます。

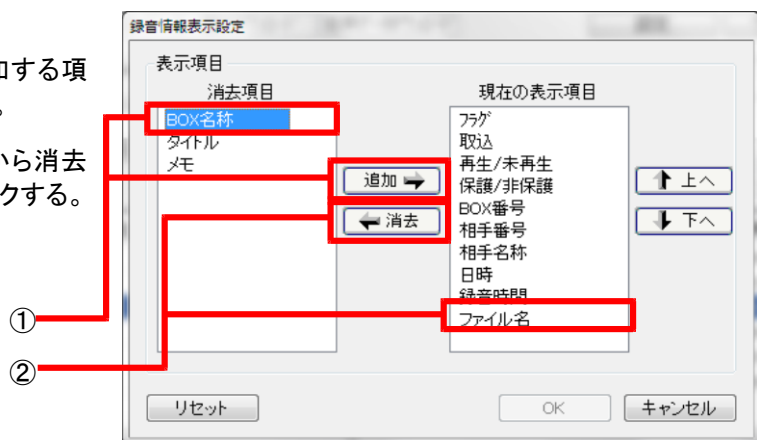
1 設定メニューの「録音情報一覧の表示項目の追加と消去...」をクリックする

※システム応答メッセージでは表示項目の変更はできません。



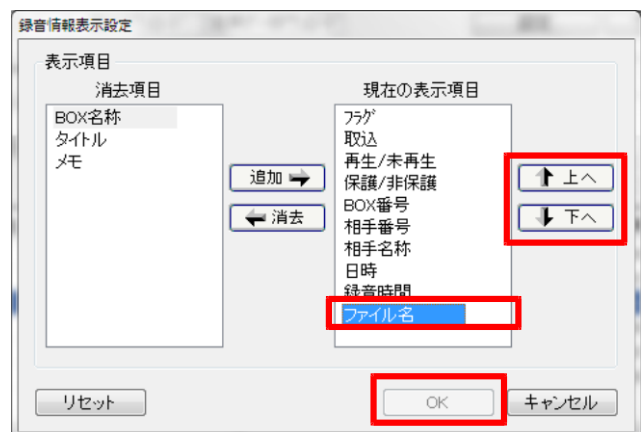
2 「録音情報表示設定」画面となる

- ① 追加する場合は、「消去項目」の中から追加する項目を選び、 ボタンをクリックする。
- ② 消去する場合は、「現在の表示項目」の中から消去する項目を選び、 ボタンをクリックする。



3 追加後に表示順序を変更する場合は、移動する項目を選び、 / ボタンをクリックして移動する すべての変更が完了したら ボタンをクリックする

- ※「現在の表示項目」の上から順に、メイン画面の一覧表の左から表示します。
- ※ ボタンをクリックすると、初期状態に戻ります。
- 「リセットの確認」画面が表示されますので、リセットしてよい場合は ボタンをクリックしてください。初期状態の項目構成でメイン画面が表示されます。
- ※中止する場合は ボタンをクリックしてください。



4 「設定の確認」画面が表示されるので、設定してよい場合は ボタンをクリックする

※やり直す場合は ボタンをクリックしてください。「録音情報表示設定」画面に戻ります。

5 メイン画面に戻り、設定した項目構成で録音情報が表示される

3. その他の操作

音声ファイルの常時ダウンロード

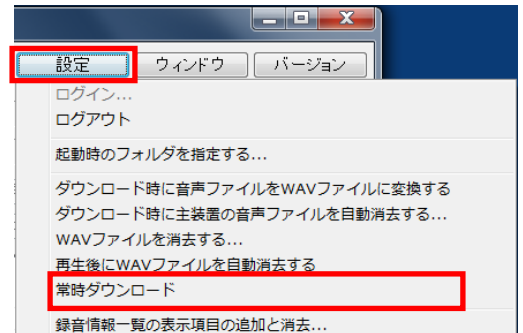
ボイスメモに録音されている留守録BOX・内線BOXの録音情報／音声ファイルを、順次継続的に自動ダウンロードすることができます。これにより、録音情報一覧表示(☞2-18ページ)の自動更新ができます。

※本機能が働いている時に、ダウンロード先フォルダを変更すると、変更したフォルダに自動ダウンロード先が切り替わりますので、取り扱いにご注意ください。

1

主装置にログインし、設定メニューの「常時ダウンロード」をクリックする

※「設定メニュー」を開いたとき、設定があるとチェックマーク(✓)が表示されます。初期設定はチェックなしです。
※操作するたびに、設定の有無が変化します。



補足説明

- ログアウト中は、本機能は働きません。
- 「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」(☞2-12 ページ)をチェックしておくと、本機能が実行中にもダウンロードされた音声ファイルが WAV ファイルに自動変換されます。
- 「ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する」(☞3-24 ページ)機能を「あり」に設定してあるボックスは、ダウンロード後、ボイスメモに録音されている対象ボックスの音声ファイルが自動消去されます。

ご注意

- 本機能が動作中、主装置との間で通信エラーが発生すると、ログアウトとなるため、その後再度ログインするまで、本機能の動作は中止されます。ネットワーク環境が良くない場合は、本機能をご使用にならないでください。
- パソコンのメモリやハードディスクの空き容量が不足している場合は、エラー画面「PC のメモリ不足です。常時ダウンロード機能を解除します。メモリを確保したあとで再設定してください。」が表示され、「常時ダウンロード」の設定が自動的に解除されます。空きメモリを十分に確保したあとで再設定を行ってください。
- ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する場合、長時間録音した音声ファイルがあると、お使いの環境により「通信エラーが発生しました。」のエラー画面が表示されることがあります。エラーが発生する場合は、「ダウンロード時に音声ファイルを WAV ファイルに変換する」のチェックマーク(✓)を外してください。WAV ファイルへの変換は、再生するときや録音情報一覧で行うことができます。(☞2-24、3-4、3-5 ページ)

3. その他の操作

ダウンロードした音声ファイルを WAV ファイルに変換する

ダウンロードした音声ファイルをパソコン側で再生可能な WAV ファイルに変換します。再生時に自動変換することもできますが、事前に変換しておくことですぐに音声メッセージを再生することができます。

1

録音情報一覧を表示した状態で、WAV ファイルに変換したい音声メッセージを選び、**変換** ボタンをクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。
※複数のメッセージを選んで変換することもできます。

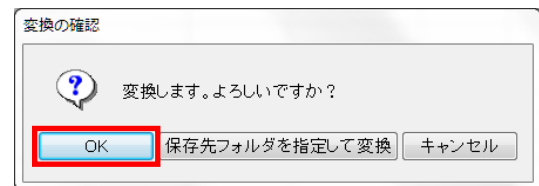


★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

2

「変換の確認」画面が表示されるので、変換してよい場合は **OK** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。
メイン画面に戻ります。
※保存先を指定して WAV ファイルに変換することもできます。
この場合、**保存先フォルダを指定して変換** ボタンをクリックします。詳細は 3-5 ページをご覧ください。



3

「変換中」画面となり、進行状況が表示される

※変換を中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。変換が完了したファイルはパソコン内に保存されます。

4

「変換完了」画面が表示されたら **OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

補足説明

- 時間の長い音声メッセージでは数分かかる場合があります。
- 変換元の音声ファイルはそのまま残ります。

ご注意

- 変換元の音声ファイルがない場合は変換できません。エラー画面が表示されます。複数の録音情報を選んだ場合は、変換元の音声ファイルがある録音情報のみ WAV ファイルに変換します。
- パソコンのメモリやハードディスクの空き容量が不足している場合は変換できない場合があります。エラー画面が表示されますが、エラーとなる前に変換できた WAV ファイルはパソコン内に保存されます。

3. その他の操作

保存先を指定して WAV ファイルに変換する

変換 ボタンで音声ファイルを WAV ファイルに変換するとき、保存先フォルダを指定して WAV ファイルに変換することができます。

1 録音情報一覧を表示した状態で、保存先を指定して WAV ファイルに変換したい音声メッセージを選び、**変換** ボタンをクリックする

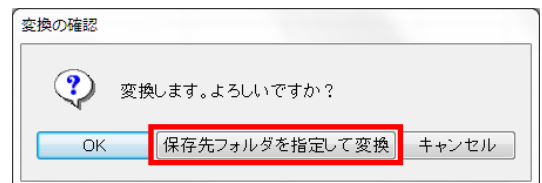
※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。
※複数のメッセージを選んで変換することもできます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますのでご注意ください。

2 「変換の確認」画面が表示されるので、**保存先フォルダを指定して変換** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。
メイン画面に戻ります。



3 「フォルダの参照」画面が表示されるので、保存先フォルダを選択して **OK** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。
手順1の選択済画面に戻ります。

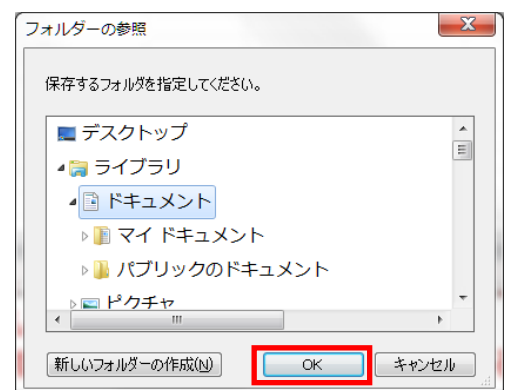
※初期は「ドキュメント」が指定されています。

2回目以降は、前回指定のフォルダが指定されます。

※右クリックで、フォルダ名の変更ができます。

※別のフォルダを作成するときは、下記の操作を行います。

- ①フォルダを作成する場所を選ぶ。
- ② **新しいフォルダの作成(N)** ボタンをクリックする(選んだフォルダに新しいフォルダが作成されます)。
- ③「新しいフォルダ」が作成されるので、右クリックし「名前の変更」を選んで名前を変更する。
- ④フォルダを指定し、**OK** ボタンをクリックする。



4 「変換中」画面となり、進行状況が表示される

※変換を中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。変換が完了したファイルはパソコン内に保存されます。

5 「変換完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

3. その他の操作

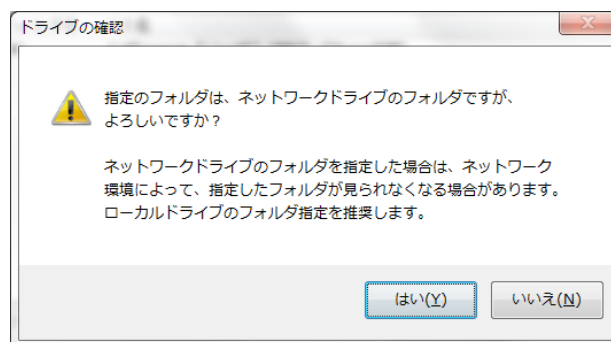
補足説明

- 時間の長い音声メッセージでは数分かかる場合があります。
- 変換元の音声ファイルはそのまま残ります。

ご注意

- 変換元の音声ファイルがない場合は変換できません。エラー画面が表示されます。複数の録音情報を選んだ場合は、変換元の音声ファイルがある録音情報のみ WAV ファイルに変換します。
 - パソコンのメモリやハードディスクの空き容量が不足している場合は変換できない場合があります。エラー画面が表示されますが、エラーとなる前に変換できた WAV ファイルはパソコン内に保存されます。
 - WAV ファイルの保存先は、指定されたフォルダの直下となります。
 - 保存された WAV ファイルは、本アプリケーションの管理対象外となります。従って、本アプリケーションから対象の WAV ファイルを指定して、再生や消去などを行うことはできません。エクスプローラや市販のアプリケーションを使用して再生や消去などを行ってください。
- 本アプリケーションの管理対象としたい場合は、手順2の「変換の確認」画面で ボタンをクリックして WAV 変換してください。(3-4 ページ) ただし、この場合は WAV ファイルの保存先フォルダは指定できません。

- 手順3の「フォルダの参照」画面で、ネットワークドライブのフォルダを指定した場合、 ボタンをクリックした時に、右記のドライブの確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたフォルダが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのフォルダ指定を推奨します。
- ※右記の画面にて、 ボタンをクリックすると、次項へ進み、 ボタンをクリックすると、前の画面に戻ります。



- 保存時、保存先に同名のファイルがあると上書きされますので、保存先フォルダは本機能専用でご使用ください。

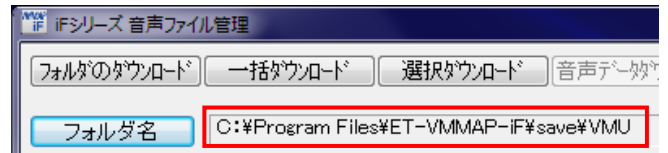
3. その他の操作

音声メッセージ移動・コピー専用のボックスフォルダを作成する

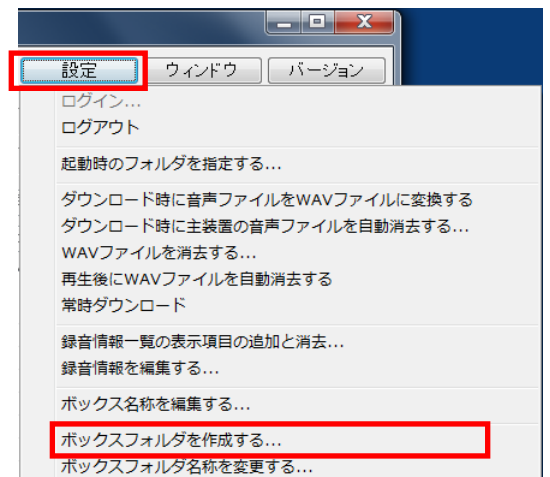
■ボックスフォルダを作成する

ボイスメモから各種メッセージをダウンロードするためのボックスフォルダ群とは別に、メッセージの移動・コピー専用のボックスフォルダを作成することができます。内容や用途、相手別などでメッセージを分類して管理するときなどにご利用ください。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダが、移動・コピー元の録音情報が保存されているフォルダであることを確認する

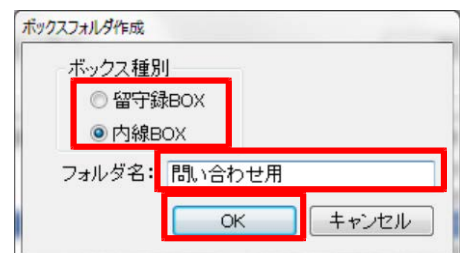


- 2 設定メニューの「ボックスフォルダを作成する...」をクリックする



- 3 「ボックスフォルダ作成」画面が表示されるので、ボックス種別を選び、フォルダ名の入力をして、**OK** ボタンをクリックする

※ボックス種別による機能の違いはありません。移動・コピー元のボックス種別に合わせて選んでください。
※フォルダ名は全角7文字／半角14文字以内で入力してください。
※すでに作成してあるフォルダと同じ名前のフォルダは作れません。すでに作成してあるフォルダは、設定メニューの「ボックス名称を編集する...」をクリックして確認してください。
※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 4 「作成完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

※作成したボックスフォルダは、メイン画面の **ボックス** ボタンをクリックして表示される「ボックスを開く」画面の「BOX 番号欄」で確認できます。

補足説明

- 作成したボックスフォルダは、移動・コピー専用です。これらのフォルダに直接ダウンロードすることはできません。
- ボックスフォルダのフォルダ名は、留守録BOXや内線BOXのBOX番号に相当します。フォルダ名とは別にボックス名称を登録することもできます。(P.3-14 ページ)

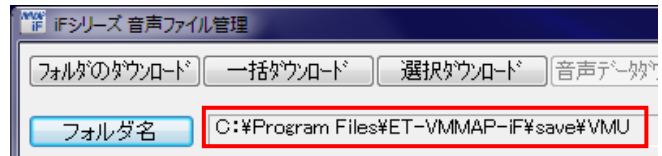
3. その他の操作

■ボックスフォルダ名称を変更する

作成したボックスフォルダの名称を変更することができます。各種メッセージが移動・コピーされているフォルダも、フォルダ内のデータは残したまま名称を変えることができます。

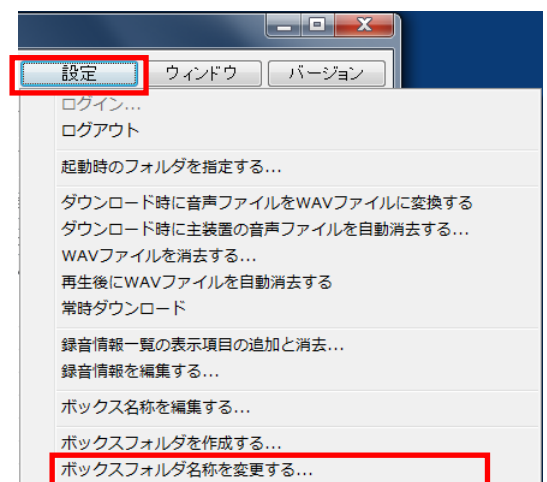
1

メイン画面の「フォルダ名」ボタンの右枠に表示されているフォルダが、名称を変更するボックスフォルダが含まれているフォルダであることを確認する



2

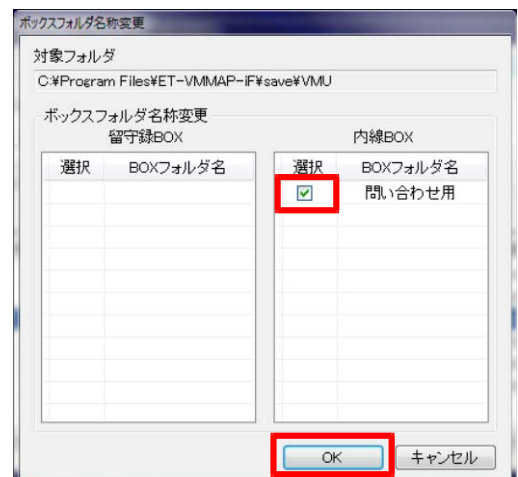
設定メニューの「ボックスフォルダ名称を変更する...」をクリックする



3

「ボックスフォルダ名称変更」画面が表示されるので、変更したいBOXの「選択」欄をチェックする。BOXフォルダ名を直接変更し、「OK」ボタンをクリックする

- ※複数のBOXフォルダ名を変更することもできます。
- ※フォルダ名は全角7文字以内／半角14文字以内で入力してください。
- ※すでに作成してあるフォルダと同じ名前のフォルダは作れません。すでに作成してあるフォルダは、設定メニューの「ボックス名称を編集する...」をクリックして確認してください。
- ※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



4

「登録の確認」画面が表示されるので、登録してよい場合は「はい(Y)」ボタンをクリックする

- ※中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

5

「変更完了」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

- ※ボックスフォルダの名称は、メイン画面の「ボックス」ボタンをクリックして表示される「ボックスを開く」画面の「BOX 番号欄」で確認できます。

3. その他の操作

ご注意

- ボックスフォルダ名称を変更しても、そのままでは録音情報一覧には反映されません(画面には名称を変更する前の録音情報一覧が表示されていますが、各種機能は利用できません)。ボックスフォルダ名称を変更した場合には、ボックスを選び、録音情報一覧を開き直してください。

3. その他の操作

音声メッセージを別のボックスフォルダに移動・コピーする

ダウンロードした各種メッセージを、別のボックスフォルダに移動またはコピーすることができます。移動・コピー先として指定できるのは、同じダウンロード先フォルダ内にあるボックスフォルダのみです。

1

録音情報一覧を表示した状態で、移動またはコピーしたい音声メッセージを選び、**移動・コピー** ボタンをクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。

※複数のメッセージを選んで移動・コピーすることもできます。



★録音情報の表示行を左クリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

2

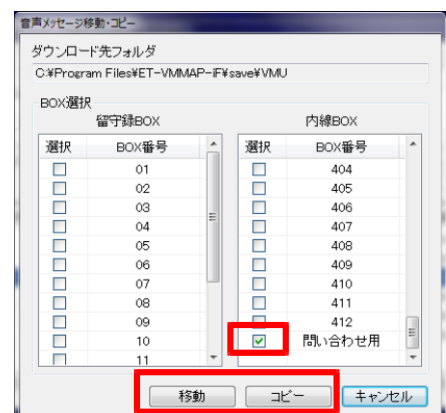
「音声メッセージ移動・コピー」画面となるので、移動・コピー先の BOX 番号にチェックを入れ、**移動** または **コピー** ボタンをクリックする

移動 ボタン:メッセージが移動されます。移動元にメッセージは残りません。

コピー ボタン:メッセージがコピーされます。移動元にメッセージは残ります。

※一覧に表示されている BOX を一つ選んでください。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3

「移動の確認」画面または「コピーの確認」画面が表示されるので、移動またはコピーしてよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする

※やり直す場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。「音声メッセージ移動・コピー」画面に戻ります。

4

「移動中」画面または「コピー中」画面となり、進行状況が表示される

※移動またはコピー中に中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。

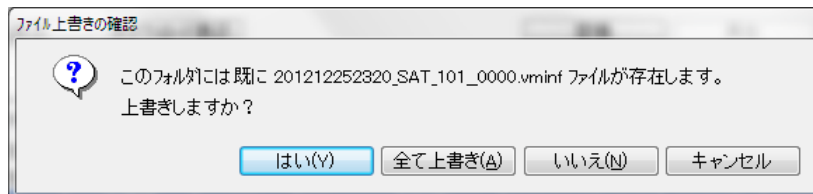
5

「移動完了」画面または「コピー完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

3. その他の操作

補足説明

- WAV ファイルも移動・コピーされます。
- 移動・コピーしたファイルは、さらに他のボックスフォルダに移動・コピーすることもできます。
- 移動先・コピー先に同じファイルがある場合は、「ファイル上書きの確認」画面が表示されます。



はい(Y)	ボタン: 画面に表示されたファイルのみを上書きします。
全て上書き(A)	ボタン: 以降は同じファイルがあってもすべて上書きします。
いいえ(N)	ボタン: 画面に表示されたファイルは上書きしません。
キャンセル	ボタン: 画面に表示されたファイルは上書きせず、以降の処理を終了します。「移動完了」画面または「コピー完了」画面が表示されます。

- 音声ファイルがダウンロードされていない録音情報は、移動・コピーできません。
- システム応答メッセージを移動・コピーすることはできません。

■エラー内容

下の表のエラー画面が表示される場合があります。

エラー画面の表示	エラーとなった原因
PC のメモリ不足です。	パソコンのメモリ(ハードディスクなどの空き容量)が不足しています。
一部の音声メッセージが移動できませんでした (音声ファイルなし)。	音声ファイルが存在しない(ダウンロードされていない)ものがあります。 (2つ以上のメッセージを移動時) ※音声ファイルがある録音情報のみ処理されます。
一部の音声メッセージがコピーできませんでした (音声ファイルなし)。	
一部の音声メッセージが移動できませんでした (PC のメモリ不足)。	パソコンのメモリ(ハードディスクなどの空き容量)が不足しています。 (2つ以上のメッセージを移動時) ※メモリ不足になる前のファイルまでは処理されます。
一部の音声メッセージがコピーできませんでした (PC のメモリ不足)。	

補足説明

- 複数のエラー内容がある場合は、表示されているエラー画面の ボタンをクリックすると次のエラー画面となります。すべてのエラー画面がなくなるとメイン画面に戻ります。

3. その他の操作

録音情報を編集する

ボイスメモからダウンロードした音声メッセージの各種情報を編集したり、タイトルやメモを付加したりすることができます。

1 録音情報一覧を表示した状態で、編集したいメッセージをダブルクリックする

※録音情報一覧をクリックすると音声メッセージが選ばれます。

※音声メッセージを選び、設定メニューの「録音情報を編集する...」をクリックして表示させることもできます。



★録音情報の表示行をダブルクリックするときは、「フラグ」欄以外の部分でクリックしてください。「フラグ」欄の位置でダブルクリックすると「フラグ」欄のチェックマーク(✓)の有無が切り替わりますので注意してください。

2 「録音情報編集」画面となるので、各項目を編集し ボタンをクリックする

※編集できる項目とその説明については次のページの一覧表をご覧ください。

用件メッセージとシステム応答メッセージでは編集の対象項目が違います。

※中止する場合は ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

用件メッセージの編集画面

システム応答メッセージの編集画面

3 「登録の確認」画面が表示されるので、登録してよい場合は ボタンをクリックする

※やり直す場合は ボタンをクリックしてください。「録音情報編集」画面に戻ります。

4 編集結果が反映された録音情報一覧が表示されたメイン画面に戻る

3. その他の操作

補足説明

- 録音情報一覧に「タイトル」、「メモ」を表示するには、「録音情報表示設定」が必要です。(☞3-2 ページ)
- 編集できる項目は以下の表のとおりです。

用件メッセージ

項 目	概 要
タイトル	メッセージのタイトルを入力します。 ※全角 20 文字/半角 40 文字以内
相手番号	メッセージを録音した相手の電話番号が表示されます。情報がなければ空欄となります。電話番号を修正することもできます。 ※全角 16 文字/半角 32 文字以内
相手名称	メッセージを録音した相手の名称が表示されます。非通知の着信は非通知理由(*1)を表示します。情報がなければ空欄となります。 相手名称を修正することもできます。 ※全角 16 文字/半角 32 文字以内
フラグ	フラグの有無を選びます。初期状態は「なし」です。「あり」にすると、録音情報一覧のフラグ欄にチェックマーク(✓)が表示されます。フラグの有無で条件を絞り込んで選択表示を行ったり、並び替えを行ったりすることができます。お客様の目的に合わせて(例: 重要な録音情報はチェックを入れる)、自由にお使いください。 録音情報一覧のフラグ欄をクリックしてもフラグ有無が切り替わります。
保護/非保護	音声ファイルの保護/非保護を選択できます。初期状態は非保護です。 ・保護: 音声ファイルが保護されている状態です。消去できなくなります。 ・非保護: 音声ファイルが保護されていない状態です。消去できます。
メモ	簡単なメモを入力できます。 ※全角 40 文字/半角 80 文字以内

*1: 非通知理由は、「非通知」・「公衆電話」・「表示圏外」のいずれかになります。

システム応答メッセージ

項 目	概 要
フラグ	フラグの有無を選びます。初期状態は「なし」です。「あり」にすると、録音情報一覧のフラグ欄にチェックマーク(✓)が表示されます。フラグの有無で条件を絞り込んで選択表示を行うことができます。お客様の目的に合わせて(例: 重要な録音情報はチェックを入れる)、自由にお使いください。 録音情報一覧のフラグ欄をクリックしてもフラグ有無が切り替わります。
メッセージ名称	システム応答メッセージの名称を入力します。 ※全角 10 文字/半角 20 文字以内

ご注意

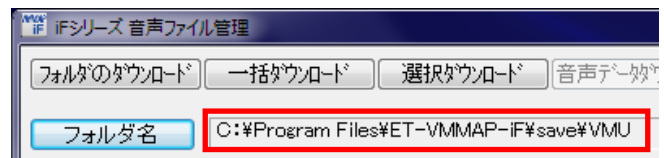
- メッセージを主装置からダウンロードしたあとで以下の操作をした場合、その録音情報を本アプリケーションに反映させることはできません。
 - ・主装置でメッセージの名称を変更した。
 - ・主装置でメッセージを再生した。
- ダウンロードしたあとは、必ず本アプリケーションで名称を変えるか、データを消去(☞2-25 ページ)してもう一度ダウンロードしてください。

3. その他の操作

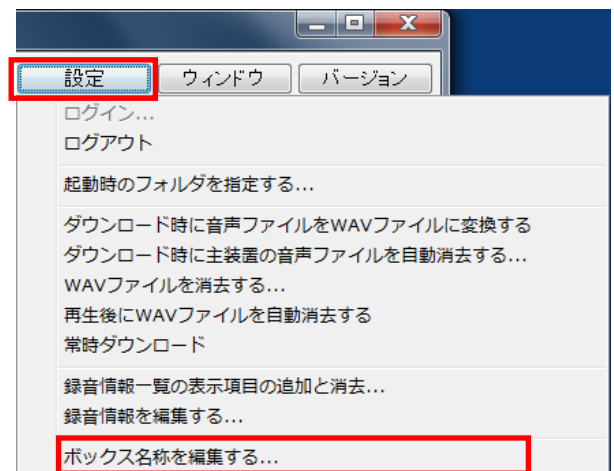
ボックス名称を編集する

ボイスメモからダウンロードしたボックスフォルダは BOX 番号のみであり、ボックス名称は含まれていません。複数のボックスの録音情報を表示したとき、留守録 BOX や内線 BOX にボックス名称が登録してあると、それぞれの BOX の所有者(部署)を名称で確認することができ、使いやすくなります。

- 1 メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダが、ボックス名称を編集するフォルダであることを確認する

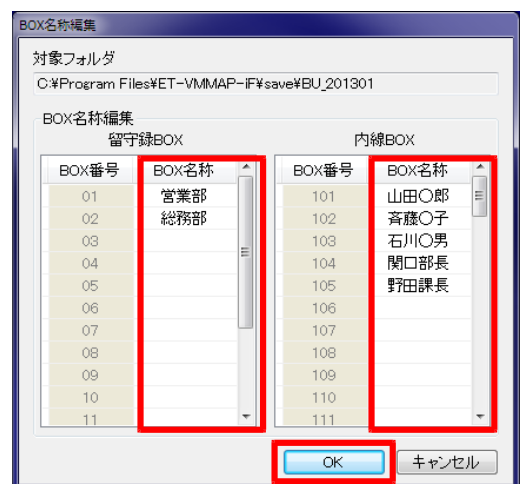


- 2 設定メニューの「ボックス名称を編集する...」をクリックする



- 3 「BOX 名称編集」画面が表示されるので、変更するBOX 番号の「BOX 名称」欄をクリックし、BOX 名称を変更したら、**OK** ボタンをクリックする

※複数の BOX 名称を変更することもできます。
※BOX 名称は全角5文字以内／半角 10 文字以内で入力してください。
※BOX 名称は同じ名前で複数が登録できます。
※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



- 4 「登録の確認」画面が表示されるので、登録してよい場合は **はい(Y)** ボタンをクリックする
※中止する場合は **いいえ(N)** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

- 5 「登録完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る
※録音情報一覧に「BOX 名称」を表示している場合は、登録した BOX 名称が表示されます。「BOX 名称」を表示するには、「録音情報表示設定」が必要です。(☞3-2 ページ)

3. その他の操作

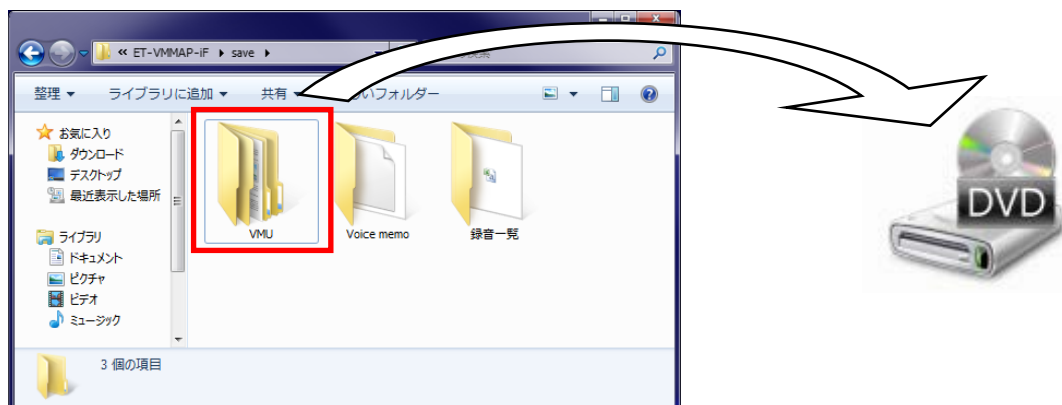
外部メディアに音声ファイルを保存する

パソコンに保存されている各種メッセージファイルは、CD-R や DVD-R などの外部メディアに保存することができます。また外部メディアに保存したデータを再びパソコンに戻して本アプリケーションで扱うことができます。

■ファイルの保存

本アプリケーションでは各種メッセージデータは「ダウンロード先フォルダ」、「バックアップフォルダ」で管理しています。外部メディアに保存する場合には、そのフォルダを（サブフォルダも含めて）構成を変えずに保存してください。

例：“C:\Program Files\ET-VMMAP-iF\save”にある”VMU”フォルダを保存する場合



■ファイルの復元

保存した各種メッセージデータを再び本アプリケーションで扱う場合には、元の場所（上記の例では C:\Program Files\ET-VMMAP-iF\save）に保存したフォルダを戻してください。戻したあとは、「フォルダのダウンロード」画面で戻したフォルダを追加してください。（☞2-4 ページ）

ご注意

- データをコピーするときは、サブフォルダとその中に入っているすべてのファイルを保存してください。データを戻したときに本アプリケーションで利用できなくなる恐れがあります。
- 本アプリケーションには外部メディアに対して保存／復元する機能はありません。エクスプローラや市販のライティングソフトをご利用ください。
- 本アプリケーションは、外部メディア上のデータを直接扱うことはできません。保存したメディアからパソコンにデータを戻してから操作してください。

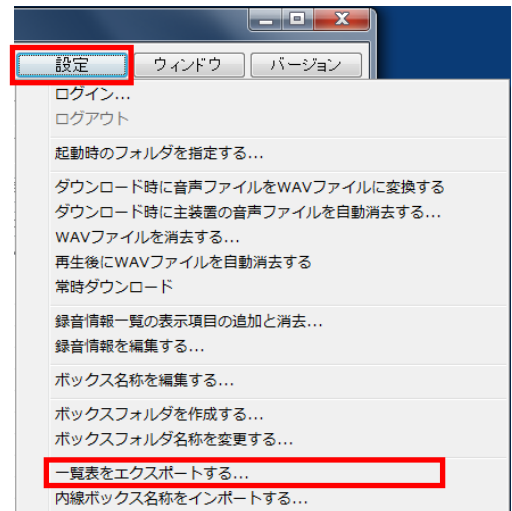
3. その他の操作

録音情報を CSV 形式でエクスポートする

パソコンに保存されている録音情報を EXCEL など利用できる CSV 形式のファイルとして出力することができます。

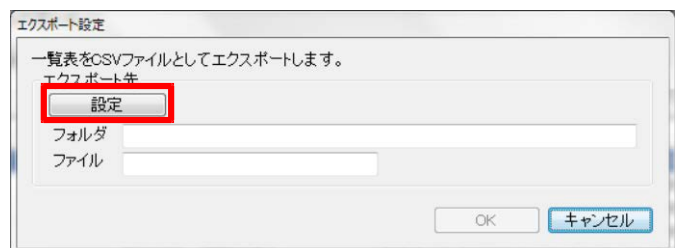
1 エクスポートしたい録音情報一覧を開き、設定メニューの「一覧表をエクスポートする...」をクリックする

※複数の録音情報一覧を開いている場合は、エクスポートしたい一覧をアクティブにしてください。



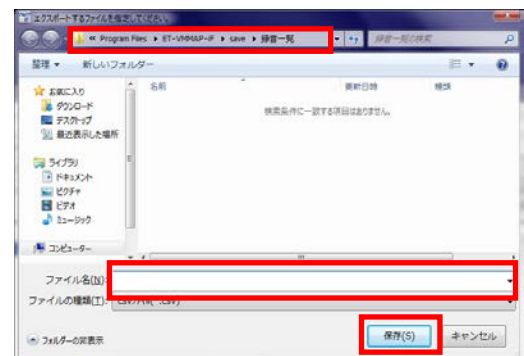
2 「エクスポート設定」画面が表示されるので、**設定** ボタンをクリックする

※フォルダ、ファイル欄に直接入力してエクスポート先を設定することもできます。



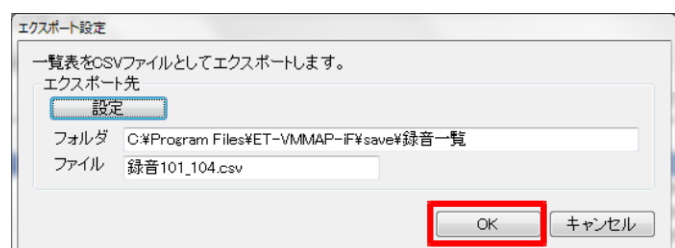
3 「エクスポートするファイルを指定してください。」画面が表示されるので、保存場所およびファイル名を決定して **保存(S)** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



4 「エクスポート設定」画面にエクスポート先が入力されるので、**OK** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



5 「エクスポート完了」画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

3. その他の操作

補足説明

- CSV ファイルの1行目には、録音情報一覧の各項目名が一覧で表示されている順に出力されます。
- 録音情報一覧の情報で、文字以外のものは下記の文字に置き換えて出力されます。

録音情報一覧		CSV ファイル内の表記
フラグ	あり	フラグ
	なし	(空白)
取込	 + 	情報+音声(再生済)
	 + 	情報+音声(未再生)
		情報のみ
	 + 	主装置データ消去済

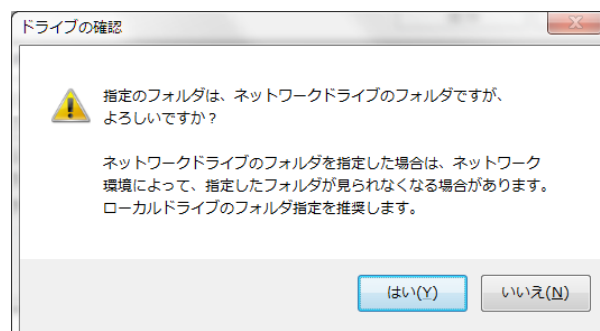
- エクスポートするとき、ファイル名が同じ場合は、上書きを確認する画面が表示されます。

ボタンをクリックすると上書きします。 ボタンをクリックするとエクスポート先を指定する画面に戻りますので、エクスポート先(フォルダ/ファイル名)を変更してください。

ご注意

- 手順3の「エクスポートするファイルを指定してください。」画面で、ネットワークドライブのフォルダを指定した場合、 ボタンをクリックした時に、右記のドライブの確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたフォルダが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのフォルダ指定を推奨します。

※右記の画面にて、 ボタンをクリックすると、次項へ進み、 ボタンをクリックすると、前の画面に戻ります。



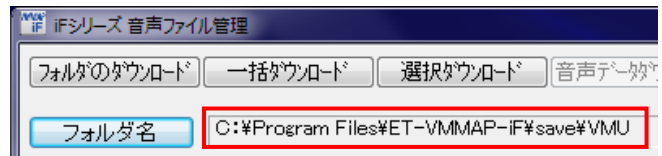
3. その他の操作

主装置の内線電話帳をインポートし、内線ボックス名称に反映させる

内線ボックスにはボックス名称(内線名称など)を登録できますが、内線電話帳データをインポートすると、登録されている内線の名称がボックス名称として登録されます。

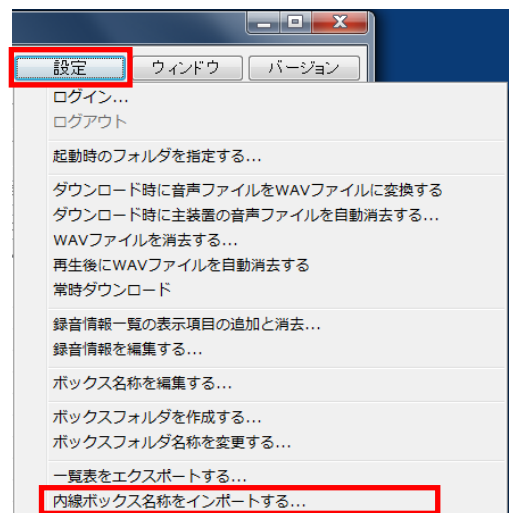
1

メイン画面の **フォルダ名** ボタンの右枠に表示されているフォルダが、内線電話帳をインポートしてよいフォルダか確認する



2

設定メニューの「内線ボックス名称をインポートする...」をクリックする



3

「インポート設定」画面が表示されるので、**設定** ボタンをクリックする

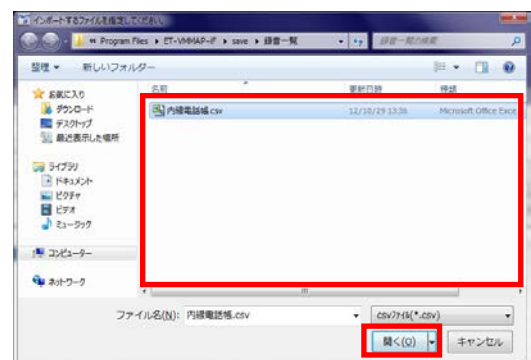
※フォルダ、ファイル欄に直接入力してインポート元を設定することもできます。



4

「インポートするファイルを指定してください。」画面が表示されるので、ファイルを選んで **開く(O)** ボタンをクリックする

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。

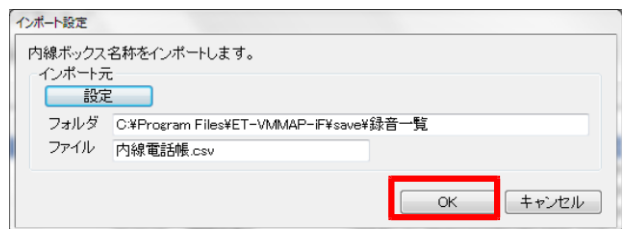


3. その他の操作

5

「インポート設定」画面にインポート先が入力されるので、 ボタンをクリックする

※中止する場合は ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



6

「インポート完了」画面が表示されたら、 ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

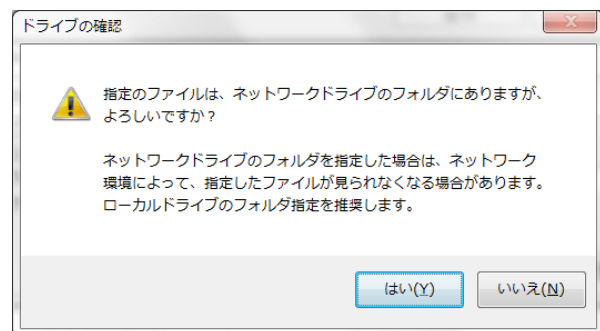
補足説明

- インポートした内線電話帳の内線番号と、内線 BOX の BOX 番号が一致したデータのみ登録されます。
- 内線電話帳データは、「短縮/着信履歴プログラム (ET-SPDPA-iF)」を使って保存します。これは無償提供のパソコン用アプリケーションです。入手に関しては、販売店・工事店にお問い合わせください。

ご注意

- インポートする内線電話帳データは、「短縮/着信履歴プログラム (ET-SPDPA-iF)」で保存したファイルをそのまま使用してください。他のアプリケーションなどを使って編集したファイルをインポートした場合、BOX 名称が正しく登録されなかったり、本プログラムの動作が不安定になったりすることがあります。
- 手順4の「インポートするファイルを指定してください。」画面で、指定のファイルがネットワークドライブにある場合、 ボタンをクリックした時に、右記のドライブの確認画面が表示されます。ネットワークの環境によって、指定されたファイルが見られなくなる場合がありますので、ローカルドライブのフォルダ指定を推奨します。

※右記の画面にて、 ボタンをクリックすると、次項へ進み、 ボタンをクリックすると、前の画面に戻ります。



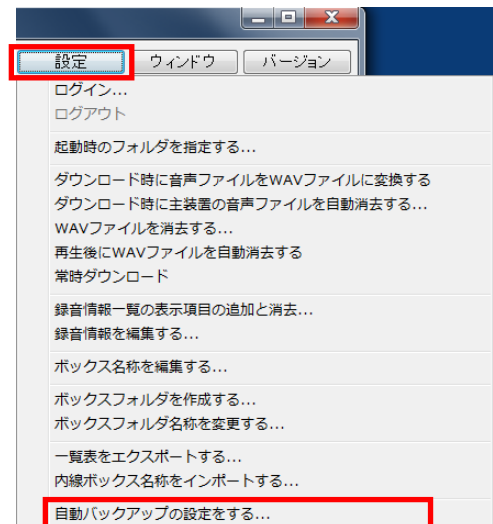
3. その他の操作

各種メッセージを自動でバックアップする

ボイスメモにある各種メッセージを自動でバックアップすることができます。バックアップする頻度や時間は設定することができます。本機能をお使いになるにはアプリケーションを起動しておく必要があります。

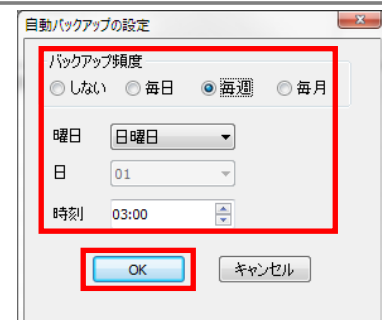
■バックアップの設定をする

1 設定メニューの「自動バックアップの設定をする...」をクリックする



2 「自動バックアップの設定」画面が表示されるので、各項目を設定して ボタンをクリックする

※各設定項目については補足説明をご覧ください。



3 設定されたタイミングになると自動でバックアップ処理が開始されます

※本アプリケーションは終了しないでください。

補足説明

●「自動バックアップの設定」画面の説明

バックアップ 頻度	しない	自動バックアップは実行されません。
	毎日	毎日実行させる場合に設定します。 時刻を設定してください。
	毎週	週に1度実行させる場合に設定します。 曜日と時刻を設定してください。
	毎月	月に一度実行させる場合に設定します。 日と時刻を設定してください。
曜日		バックアップ頻度を毎週に設定したときのみ選べます。実行する曜日を選びます。
日		バックアップ頻度を毎月設定したときのみ選べます。実行する日付を選びます。
時刻		実行する時刻を設定します。

3. その他の操作

- バックアップ先のフォルダについて

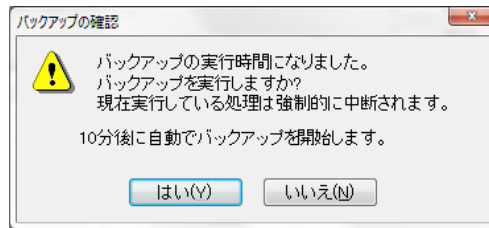
バックアップしたメッセージは、バックアップ専用のフォルダ(BU_yyyyymm という名前が自動で付けられます。yyyy:年 mm:月)に保存されています。専用フォルダは「ダウンロード先フォルダ」と同じ位置に、「月」単位で作成されます。メッセージは録音された「月」のフォルダに保存されます。

例: 2013 年 4 月 15 日に録音されたメッセージ 「BU_201304」フォルダに保存されます。

- バックアップ確認画面について

自動バックアップをする設定にしてあると、バックアップの開始前に「バックアップの確認」画面が表示されます。バックアップを実行したくないときには ボタンをクリックしてください。

ボタンをクリックするか 10 分間操作をしなかったときはバックアップが開始されます。



ご注意

- バックアップ機能をお使いになるには、本アプリケーションを起動しておく必要があります。アプリケーションを終了してしまうとバックアップは実行されません。
- ログイン中にはバックアップは実行されません。

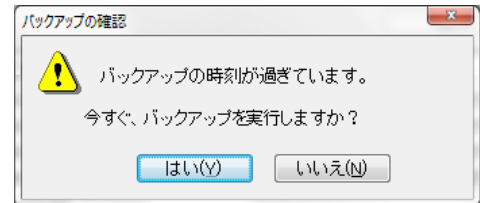
3. その他の操作

■アプリケーションの起動時のバックアップ

アプリケーションを起動した際に、設定されているバックアップの時刻が過ぎていると「バックアップの確認」ダイアログが表示されます。画面の説明に従って操作してください。

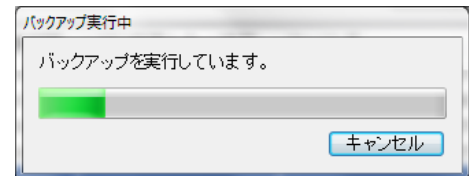
1 アプリケーションを起動すると、「バックアップの確認」画面が表示される

- ボタン: すぐにバックアップを実行する場合にクリックします。
- ボタン: バックアップを実行しない場合にクリックします。



2 ボタンをクリックすると、バックアップが開始される

- ※バックアップの実行中は他の操作をすることはできません。終了するまでお待ちください。
- ※中止する場合は ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3 「バックアップ完了」画面が表示されたら ボタンをクリックしてメイン画面に戻る

補足説明

- バックアップ頻度の設定を「しない」にしている場合には、「バックアップの確認」画面は表示されません。

ご注意

- バックアップ処理は時間がかかります。時間が十分にあるときに実行することをおすすめします。

3. その他の操作

■アプリケーションの終了時のバックアップ

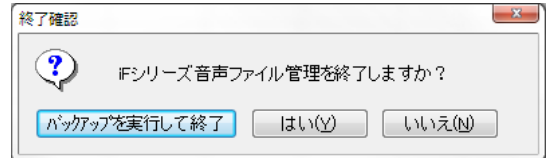
アプリケーションを終了する際にバックアップを実行してから終了することができます。

1 アプリケーションを終了すると、「終了確認」画面が表示される

バックアップを実行して終了 ボタン: アプリケーションを終了する前にバックアップを実行します。

はい(Y) ボタン: アプリケーションを終了します。

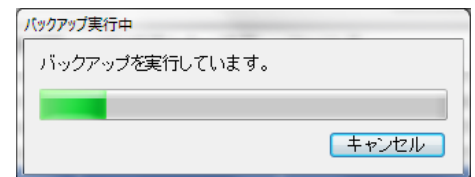
いいえ(N) ボタン: メイン画面に戻ります。



2 **バックアップを実行して終了** ボタンをクリックすると、バックアップが開始される

※バックアップの実行中は他の操作をすることはできません。終了するまでお待ちください。

※中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックしてください。



3 バックアップが完了したらアプリケーションは自動で終了します

補足説明

- バックアップ頻度の設定を「しない」にしている場合には、「バックアップの確認」画面は表示されません。

ご注意

- バックアップ処理は時間がかかります。時間が十分にあるときに実行することをおすすめします。
- アプリケーションを終了してしまうとバックアップは実行されません。

3. その他の操作

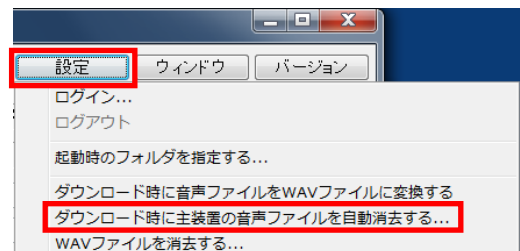
ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する

ダウンロード時(☞2-12ページ)にボイスメモに録音されている留守録BOX・内線BOXの録音情報・音声ファイルを、自動消去します。

※この機能は主装置のバージョンが5-1版～のみ有効です。それ以前のバージョンについては、本機能を「あり」に設定しないでください。主装置のバージョンについては、販売店にお問い合わせください。

※主装置でもメッセージ消去有無の設定を「消去あり」にする必要があります。このとき、保護メッセージや未再生メッセージは消去しないようにも設定できます。主装置の設定については販売店・工事店にご確認ください。

1 設定メニューの「ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する...」をクリックする



2 「ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する」画面となるので、ダウンロード時に自動消去したいBOXにチェックを入れ、 ボタンをクリックする

ボタン: すべてのボックスが選択されます。
 ボタン: すべてのボックスが未選択となります。

※中止する場合は ボタンをクリックしてください。メイン画面に戻ります。



3 「自動消去の確認」画面が表示されるので、ダウンロード時に自動消去をしてよい場合は ボタンをクリックする

※やり直す場合は ボタンをクリックしてください。「ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する」画面に戻ります。

補足説明

- 本機能により、ボイスメモに録音されている録音情報・音声ファイルのみ自動消去されます。パソコン内の録音情報・音声ファイルは残ります。
- バックアップ(☞3-20 ページ)の際にも本機能は有効です。

ご注意

- ボイスメモの音声ファイルは選択されたBOX単位で自動消去されます。メッセージごとの自動消去はできません。
- システム応答メッセージは自動消去されません。
- 主装置のバージョンが適用外の場合に、本機能を「あり」に設定すると、ダウンロード後にエラー画面「主装置が音声ファイルの自動消去に対応していません。「ダウンロード時に主装置の音声ファイルを自動消去する」機能を解除します。」が表示されます。この場合、 ボタンのクリックにより、本機能の設定が自動的に解除されます。

